

(様式第10)

令和 6 年 10 月 4 日
厚生労働大臣 殿 開設者名 国立大学法人鳥取大学
学長 中島 廣光

鳥取大学医学部附属病院の病院の業務に関する報告について

標記について、医療法(昭和23年法律第205号)第12条の3第1項及び医療法施行規則(昭和23年厚生省令第50号)第9条の2の2の第1項の規定に基づき、令和 年度の業務に関して報告します。

1 開設者の住所及び氏名

住所	〒680-8550 鳥取県鳥取市湖山町南4丁目101
氏名	国立大学法人鳥取大学

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名称

鳥取大学医学部附属病院

3 所在の場所

〒683-8504 鳥取県米子市西町36番地1
電話(0859)33-1111

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

<input checked="" type="radio"/>	1 医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、有すべき診療科名すべてを標榜
<input type="radio"/>	2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

(注) 上記のいずれかを選択し○を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1)内科

内科	有						
内科と組み合わせた診療科名等							
<input checked="" type="radio"/>	1呼吸器内科	<input type="radio"/>	2消化器内科	<input type="radio"/>	3循環器内科	<input type="radio"/>	4腎臓内科
	5神経内科	<input type="radio"/>	6血液内科		7内分泌内科		8代謝内科
<input checked="" type="radio"/>	9感染症内科	<input type="radio"/>	10アレルギー疾患内科またはアレルギー科		<input checked="" type="radio"/>		11リウマチ科
診療実績							
内分泌内科及び代謝内科で提供される医療は内分泌代謝内科にて、神経内科で提供される医療は脳神経内科にて提供している。							

(注) 1 「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。
2 「診療実績」欄については、「内科と組み合わせた診療科名等」欄において、標榜していない診療科がある場合、その診療科で提供される医療を、他の診療科で提供している旨を記載すること。

(2) 外科

外科				無			
外科と組み合わせた診療科名							
○	1呼吸器外科	○	2消化器外科		3乳腺外科		4心臓外科
	5血管外科	○	6心臓血管外科		7内分泌外科	○	8小児外科
診療実績							
外科で提供される医療は外科系各診療にて、乳腺外科及び内分泌外科で提供される医療は乳腺内分泌外科にて提供している。							

(注) 1 「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。
 2 「診療実績」欄については、「外科」「呼吸器外科」「消化器外科」「乳腺外科」「心臓外科」「血管外科」「心臓血管外科」「内分泌外科」「小児外科」のうち、標榜していない科がある場合は、他の標榜科での当該医療の提供実績を記載すること(「心臓血管外科」を標榜している場合は、「心臓外科」「血管外科」の両方の診療を提供しているとして差し支えないこと)。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

○	1精神科	○	2小児科	○	3整形外科	○	4脳神経外科
○	5皮膚科	○	6泌尿器科	○	7産婦人科		8産科
	9婦人科	○	10眼科	○	11耳鼻咽喉科	○	12放射線科
	13放射線診断科	○	14放射線治療科	○	15麻酔科	○	16救急科

(注) 標榜している診療科名に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科				無			
歯科と組み合わせた診療科名							
	1小児歯科		2矯正歯科	○	3歯科口腔外科		
歯科の診療体制							
本院は歯科医師を有する特定機能病院である。							

(注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。
 2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1	内分泌代謝内科	2	膠原病内科	3	乳腺内分泌外科	4	頭頸部外科	5	ペインクリニック外科
6	薬物療法内科	7	形成外科	8	腫瘍内科	9	脳神経小児科	10	病理診断科
11	リハビリテーション科	12	脳神経内科	13		14		15	
16		17		18		19		20	
21		22		23		24		25	

(注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
40	2	6	0	649	697

(単位: 床)

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計
医師	343	72	396.2
歯科医師	14	1	14.8
薬剤師	48	0	48
保健師	0	0	0
助産師	48	0	48
看護師	846	16	855.7
准看護師	0	0	0
歯科衛生士	5	0	5
管理栄養士	12	0	12

職種	員数
看護補助者	66
理学療法士	21
作業療法士	9
視能訓練士	7
義肢装具士	0
臨床工学士	24
栄養士	0
歯科技工士	2
診療放射線技師	43

職種	員数
診療エックス線技師	0
臨床検査技師	54
臨床検査衛生検査技師	0
その他	0
あん摩マッサージ指圧師	0
医療社会事業従事者	9
その他の技術員	6
事務職員	342
その他の職員	55

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めなくて記入すること。
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

専門医名	人数(人)	専門医名	人数(人)
総合内科専門医	49	眼科専門医	9
外科専門医	35	耳鼻咽喉科専門医	8
精神科専門医	7	放射線科専門医	14
小児科専門医	29	脳神経外科専門医	10
皮膚科専門医	7	整形外科専門医	14
泌尿器科専門医	12	麻酔科専門医	13
産婦人科専門医	13	救急科専門医	11
		合計	231

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名 (武中 篤 任命年月日 令和 5 年 4 月 1 日

医療事故防止等対策委員会 委員

9 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	556.5 人	7.1 人	563.7 人
1日当たり平均外来患者数	1474.0 人	83.0 人	1556.9 人
1日当たり平均調剤数		1179	剤
必要医師数		144	人

必要歯科医師数	6	人
必要薬剤師数	19	人
必要(准)看護師数	335	人

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。
2 入院患者数は、前年度の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
3 外来患者数は、前年度の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
4 調剤数は、前年度の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。
5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要(准)看護師数については、医療法施行規則第二十二条

10 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設備概要			
集中治療室	582.6 m ²	鉄骨鉄筋 コンクリート	病床数	28 床	心電計	有
			人工呼吸装置	有	心細動除去装置	有
			その他の救急蘇生装置	有	ペースメーカー	有
無菌病室等	[固定式の場合] 床面積 188.1 m ² [移動式の場合] 台数 12 台		病床数	19 床		
医薬品情報 管理室	[専用室の場合] 床面積 28 m ² [共用室の場合] 共用する室名					
化学検査室	453.2 m ²	鉄骨鉄筋コンクリート	(主な設備)	生化学自動分析装置、化学発光酵素免疫測定装置、電気化学発光免疫測定装置		
細菌検査室	97.2 m ²	鉄骨鉄筋コンクリート	(主な設備)	自動同定感受性分析装置、血液培養装置、自動細菌同定検査装置		
病理検査室	93.3 m ²	鉄骨鉄筋コンクリート	(主な設備)	自動固定包埋装置、自動免疫染色装置、凍結切片作製装置 自動染色機、液状化処理細胞診作製装置、切り出し台等		
病理解剖室	90 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備)	病理解剖台、臓器保管庫等		
研究室	1061 m ²	鉄骨鉄筋コンクリート	(主な設備)	中央実験台、フリーザー、ドラフトチャンバー等		
講義室	406 m ²	鉄筋コンクリート	室数	2 室	収容定員	318 人
図書室	1777 m ²	鉄筋コンクリート	室数	6 室	蔵書数	70000 冊程度

- (注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。
2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

11 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

紹介率	83.1	%	逆紹介率	105.6	%
算出 根拠	A: 紹介患者の数		11979		人
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数		18330		人
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数		2449		人
	D: 初診の患者の数		17361		人

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

12 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由(注)

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害 関係	委員の要件 該当状況
福田 誠司	相山女学園大学看護学 部 教授	○	医療に係る安全管理に 関する識見を有する者 として適任であるため。	無	1
中村 寿夫	中村法律事務所 弁護 士		法律に関する識見を有 する者として適任である ため。	無	1
井上 俊之	NPO法人岡山SP研究 会 理事		医療を受ける者で、かつ医療 従事者以外であり、医療安全 管理についての知識を有する 者として適任であるため。	無	2

- (注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。
1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
 2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者(1.に掲げる者を除く。)
 3. その他

13 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況

委員名簿の公表の有無	有
委員の選定理由の公表の有無	有
公表の方法	
病院のホームページ及び大学のホームページにて公表	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

その他の高度医療の種類合計数	
扱い患者数の合計(人)	0

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
1	球脊髄性筋萎縮症	7	56	ベーチェット病	29
2	筋萎縮性側索硬化症	24	57	特発性拡張型心筋症	49
3	脊髄性筋萎縮症	2	58	肥大型心筋症	4
4	原発性側索硬化症	0	59	拘束型心筋症	3
5	進行性核上性麻痺	34	60	再生不良性貧血	11
6	パーキンソン病	159	61	自己免疫性溶血性貧血	1
7	大脳皮質基底核変性症	6	62	発作性夜間ヘモグロビン尿症	2
8	ハンチントン病	4	63	特発性血小板減少性紫斑病	24
9	神経有棘赤血球症	0	64	血栓性血小板減少性紫斑病	2
10	シャルコー・マリー・トゥース病	1	65	原発性免疫不全症候群	3
11	重症筋無力症	70	66	IgA腎症	29
12	先天性筋無力症候群	0	67	多発性嚢胞腎	17
13	多発性硬化症/視神経脊髄炎	47	68	黄色靱帯骨化症	16
14	慢性炎症性脱髄性多発神経炎/多巣性運動ニューロパチー	11	69	後縦靱帯骨化症	44
15	封入体筋炎	3	70	広範脊柱管狭窄症	1
16	クドウ・深瀬症候群	0	71	特発性大腿骨頭壊死症	16
17	多系統萎縮症	13	72	下垂体性ADH分泌異常症	14
18	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	32	73	下垂体性TSH分泌亢進症	0
19	ライソゾーム病	8	74	下垂体性PRL分泌亢進症	12
20	副腎白質ジストロフィー	1	75	クッシング病	3
21	ミトコンドリア病	4	76	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	0
22	もやもや病	26	77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	33
23	プリオン病	1	78	下垂体前葉機能低下症	81
24	亜急性硬化性全脳炎	0	79	家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0
25	進行性多巣性白質脳症	0	80	甲状腺ホルモン不応症	0
26	HTLV-1関連脊髄症	2	81	先天性副腎皮質酵素欠損症	5
27	特発性基底核石灰化症	0	82	先天性副腎低形成症	1
28	全身性アミロイドーシス	32	83	アジソン病	0
29	ウルリッヒ病	0	84	サルコイドーシス	45
30	遠位型ミオパチー	1	85	特発性間質性肺炎	34
31	ペスレムミオパチー	1	86	肺動脈性肺高血圧症	12
32	自己貪食空胞性ミオパチー	0	87	肺静脈閉塞症/肺毛細血管腫症	0
33	シュワルツ・ヤンベル症候群	0	88	慢性血栓性肺高血圧症	10
34	神経線維腫症	25	89	リンパ脈管筋腫症	3
35	天疱瘡	11	90	網膜色素変性症	12
36	表皮水疱症	0	91	バッド・キアリ症候群	4
37	膿疱性乾癬(汎発型)	9	92	特発性門脈圧亢進症	1
38	スティーヴンス・ジョンソン症候群	1	93	原発性胆汁性胆管炎 旧病名(原発性胆汁性肝硬変)	34
39	中毒性表皮壊死症	1	94	原発性硬化性胆管炎	2
40	高安動脈炎	23	95	自己免疫性肝炎	17
41	巨細胞性動脈炎	3	96	クローン病	40
42	結節性多発動脈炎	8	97	潰瘍性大腸炎	144
43	顕微鏡的多発血管炎	26	98	好酸球性消化管疾患	2
44	多発血管炎性肉芽腫症	9	99	慢性特発性偽性腸閉塞症	0
45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	14	100	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	0
46	悪性関節リウマチ	5	101	腸管神経節細胞減少症	0
47	パージャール病	4	102	ルビンシュタイン・テイビ症候群	0
48	原発性抗リン脂質抗体症候群	3	103	GFC症候群	0
49	全身性エリテマトーデス	148	104	コステロ症候群	0
50	皮膚筋炎/多発性筋炎	74	105	チャージ症候群	0
51	全身性強皮症	60	106	クリオピリン関連周期熱症候群	0
52	混合性結合組織病	23	107	若年性特発性関節炎 旧病名(全身型若年性特発性関節炎)	9
53	シェーグレン症候群	38	108	TNF受容体関連周期性症候群	0
54	成人スチル病	15	109	非典型溶血性尿毒症症候群	0
55	再発性多発軟骨炎	0	110	ブラウ症候群	0

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
111	先天性ミオパチー	0	161	家族性良性慢性天疱瘡	0
112	マリネスコ・シェーグレン症候群	0	162	類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)	14
113	筋ジストロフィー	13	163	特発性後天性全身性無汗症	0
114	非ジストロフィー性ミオトニー症候群	0	164	眼皮膚白皮症	0
115	遺伝性周期性四肢麻痺	0	165	肥厚性皮膚骨膜炎	0
116	アトピー性脊髄炎	2	166	弾性線維性仮性黄色腫	1
117	脊髄空洞症	0	167	マルファン症候群	9
118	脊髄髄膜瘤	0	168	エーラス・ダンロス症候群	0
119	アイザックス症候群	1	169	メンケス病	0
120	遺伝性ジストニア	0	170	オクシピタル・ホーン症候群	0
121	神経フェリチン症	0	171	ウィルソン病	1
122	脳表ヘモジデリン沈着症	0	172	低ホスファターゼ症	0
123	禿頭と変形性脊椎症を伴う常染色体劣性白質脳症	0	173	VATER症候群	0
124	皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症	1	174	那須・ハコラ病	0
125	神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症	0	175	ウィーバー症候群	0
126	ペリー症候群	0	176	コフィン・ローリー症候群	0
127	前頭側頭葉変性症	1	177	ジュベール症候群関連疾患 旧病名(有馬症候群)	0
128	ピッカースタッフ脳幹脳炎	0	178	モワット・ウィルソン症候群	0
129	痙攣重積型(二相性)急性脳症	0	179	ウィリアムズ症候群	0
130	先天性無痛無汗症	0	180	ATR-X症候群	0
131	アレキサンダー病	0	181	クルーゾン症候群	0
132	先天性核上性球麻痺	0	182	アペール症候群	0
133	メビウス症候群	0	183	ファイファー症候群	0
134	中隔視神経形成異常症/ドモルシア症候群	0	184	アントレー・ピクスラー症候群	0
135	アイカルディ症候群	0	185	コフィン・シリズ症候群	0
136	片側巨脳症	0	186	ロスムンド・トムソン症候群	0
137	限局性皮質異形成	0	187	歌舞伎症候群	0
138	神経細胞移動異常症	0	188	多脾症候群	0
139	先天性大脳白質形成不全症	0	189	無脾症候群	0
140	ドラベ症候群	0	190	鰓耳腎症候群	0
141	海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	0	191	ウェルナー症候群	0
142	ミオクロニー欠神てんかん	0	192	コケイン症候群	0
143	ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん	0	193	プラダー・ウィリ症候群	2
144	レノックス・ガストー症候群	0	194	ソス症候群	0
145	ウエスト症候群	0	195	ヌーナン症候群	1
146	大田原症候群	0	196	ヤング・シンプソン症候群	0
147	早期ミオクロニー脳症	0	197	1p36欠失症候群	0
148	遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん	0	198	4p欠失症候群	0
149	片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群	0	199	5p欠失症候群	0
150	環状20番染色体症候群	0	200	第14番染色体父親性ダイノミー症候群	0
151	ラスマッセン脳炎	0	201	アンジェルマン症候群	0
152	PCDH19関連症候群	0	202	スミス・マギニス症候群	0
153	難治頻回部分発作重積型急性脳炎	1	203	22q11.2欠失症候群	0
154	徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症	0	204	エマヌエル症候群	0
155	ランドウ・クレフナー症候群	1	205	脆弱X症候群関連疾患	0
156	レット症候群	0	206	脆弱X症候群	0
157	スタージ・ウェーバー症候群	0	207	総動脈幹遺残症	0
158	結節性硬化症	4	208	修正大血管転位症	0
159	色素性乾皮症	0	209	完全大血管転位症	2
160	先天性魚鱗癬	1	210	単心室症	2

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
211	左心低形成症候群	1	261	タンジール病	0
212	三尖弁閉鎖症	0	262	原発性高カイロミクロン血症	0
213	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	0	263	脳腫黄色腫症	0
214	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	0	264	無βリボタンパク血症	0
215	ファロー四徴症	3	265	脂肪萎縮症	0
216	両大血管右室起始症	1	266	家族性地中海熱	1
217	エプスタイン病	1	267	高IgD症候群	0
218	アルポート症候群	1	268	中條・西村症候群	0
219	ギャロウェイ・モト症候群	0	269	化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群	0
220	急速進行性糸球体腎炎	4	270	慢性再発性多発性骨髄炎	0
221	抗糸球体基底膜腎炎	1	271	強直性脊椎炎	10
222	一次性ネフローゼ症候群	19	272	進行性骨化性線維異形成症	0
223	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	1	273	肋骨異常を伴う先天性側弯症	0
224	紫斑病性腎炎	3	274	骨形成不全症	0
225	先天性腎性尿崩症	0	275	タナトフォリック骨異形成症	0
226	間質性膀胱炎(ハンナ型)	4	276	軟骨無形成症	0
227	オスラー病	1	277	リンパ管腫症/ゴーハム病	0
228	閉塞性細気管支炎	0	278	巨大リンパ管奇形(頸部顔面病変)	0
229	肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性)	0	279	巨大静脈奇形(頸部口腔咽頭びまん性病変)	0
230	肺胞低換気症候群	0	280	巨大動静脈奇形(頸部顔面又は四肢病変)	0
231	α1-アンチトリプシン欠乏症	0	281	クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群	2
232	カーニ-複合	0	282	先天性赤血球形成異常性貧血	0
233	ウォルフラム症候群	0	283	後天性赤芽球癆	0
234	ペルオキシソーム病(副腎白質ジストロフィーを除く。)	0	284	ダイヤモンド・ブラックファン貧血	0
235	副甲状腺機能低下症	0	285	ファンconi貧血	0
236	偽性副甲状腺機能低下症	2	286	遺伝性鉄芽球性貧血	0
237	副腎皮質刺激ホルモン不応症	0	287	エプスタイン症候群	0
238	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	3	288	自己免疫性後天性凝固因子欠乏症	0
239	ビタミンD依存性くる病/骨軟化症	0	289	クロンカイト・カナダ症候群	0
240	フェニルケトン尿症	1	290	非特異性多発性小腸潰瘍症	0
241	高チロシン血症1型	0	291	ヒルシュスブルング病(全結腸型又は小腸	0
242	高チロシン血症2型	0	292	総排泄腔外反症	0
243	高チロシン血症3型	0	293	総排泄腔遺残	0
244	メーブルシロップ尿症	0	294	先天性横隔膜ヘルニア	0
245	プロピオン酸血症	0	295	乳幼児肝巨大血管腫	0
246	メチルマロン酸血症	0	296	胆道閉鎖症	0
247	イソ吉草酸血症	0	297	アラジール症候群	0
248	グルコーストランスポーター1欠損症	0	298	遺伝性降炎	0
249	グルタル酸血症1型	0	299	嚢胞性線維症	0
250	グルタル酸血症2型	0	300	IgG4関連疾患	6
251	尿素サイクル異常症	0	301	黄斑ジストロフィー	0
252	リジン尿性蛋白不耐症	0	302	レーベル遺伝性視神経症	1
253	先天性葉酸吸収不全	0	303	アッシャー症候群	0
254	ポルフィリン症	0	304	若年発症型両側性感音難聴	0
255	複合カルボキシラーゼ欠損症	0	305	遅発性内リンパ水腫	1
256	筋型糖原病	0	306	好酸球性副鼻腔炎	43
257	肝型糖原病	0	307	カナバン病	0
258	ガラクトース-1-リン酸ウリジルトランス	0	308	進行性白質脳症	0
259	レシチンコレステロールアシルトランスフェ	0	309	進行性ミオクローヌスてんかん	0
260	シトステロール血症	0	310	先天異常症候群	0

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
311	先天性三尖弁狭窄症	0	319	セピアプテリン還元酵素(SR)欠損症	0
312	先天性僧帽弁狭窄症	0	320	先天性グリコシルホスファチジルイノシトール(GPI)欠損症	0
313	先天性肺静脈狭窄症	0	321	非ケトーシス型高グリシン血症	0
314	左肺動脈右肺動脈起始症	0	322	β -ケトチオラーゼ欠損症	0
315	ネイルパテラ症候群(爪膝蓋骨症候群)/L MX1B関連腎症	0	323	芳香族L-アミノ酸脱炭酸酵素欠損症	0
316	カルニチン回路異常症	0	324	メチルグルタコン酸尿症	0
317	三頭酵素欠損症	0	325	遺伝性自己炎症疾患	0
318	シトリン欠損症	0	326	大理石骨病	0
			327	特発性血栓症(遺伝性血栓性素因によるものに限る。)	0
			328	前眼部形成異常	0
			329	無虹彩症	1
			330	先天性気管狭窄症/先天性声門下狭窄症 旧病名(先天性気管狭窄症)	0
			331	特発性多中心性キャッスルマン病	3
			332	膠様滴状角膜ジストロフィー	0
			333	ハッチンソン・ギルフォード症候群	0
			334	脳クレアチン欠乏症候群	0
			335	ネフロン癆	0
			336	家族性低 β リポタンパク血症1 (ホモ接合体)	0
			337	ホモシステチン尿症	0
			338	進行性家族性肝内胆汁うっ滞症	0

(注)「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

疾患数	122
合計患者数(人)	1929

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療料)

施設基準の種類	施設基準の種類
・情報通信機器を用いた診療に係る基準	・医療DX推進体制整備加算
・地域歯科診療支援病院歯科初診料	・報告書管理体制加算
・歯科外来診療医療安全対策加算2	・褥瘡ハイリスク患者ケア加算
・歯科診療特別対応連携加算	・ハイリスク妊娠管理加算
・特定機能病院入院基本料	・ハイリスク分娩管理加算
・救急医療管理加算	・呼吸ケアチーム加算
・超急性期脳卒中加算	・術後疼痛管理チーム加算
・診療録管理体制加算2	・後発医薬品使用体制加算1
・医師事務作業補助体制加算1	・病棟薬剤業務実施加算1
・急性期看護補助体制加算	・病棟薬剤業務実施加算2
・看護職員夜間配置加算	・データ提出加算
・看護補助加算	・入退院支援加算
・療養環境加算	・認知症ケア加算
・重症者等療養環境特別加算	・せん妄ハイリスク患者ケア加算
・無菌治療室管理加算1	・精神疾患診療体制加算
・無菌治療室管理加算2	・精神科急性期医師配置加算
・放射線治療病室管理加算(治療用放射性同位元素による場合)	・排尿自立支援加算
・緩和ケア診療加算	・地域医療体制確保加算
・精神病棟入院時医学管理加算	・地域歯科診療支援病院入院加算
・精神科身体合併症管理加算	・救命救急入院料3
・精神科リエゾンチーム加算	・救命救急入院料4
・摂食障害入院医療管理加算	・特定集中治療室管理料1
・栄養サポートチーム加算	・特定集中治療室管理料3
・医療安全対策加算1	・総合周産期特定集中治療室管理料
・感染対策向上加算1	・新生児治療回復室入院医療管理料
・患者サポート体制充実加算	・小児入院医療管理料1
・重症患者初期支援充実加算	・短期滞在手術等基本料1
・歯科外来診療感染対策加算4	・医療的ケア児(者)入院前支援加算
・バイオ後続品使用体制加算	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療料)

施設基準の種類	施設基準の種類
・ウイルス疾患指導料	・脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術
・外来栄養食事指導料の注2に規定する基準	・角膜結膜悪性腫瘍切除手術
・外来栄養食事指導料の注3に規定する基準	・治療的角膜切除術(エキシマレーザーによるもの(角膜ジストロフィー又は帯状角膜炎に係るものに限る。))
・心臓ペースメーカー指導管理料の注5に規定する遠隔モニタリング加算	・角膜移植術(内皮移植加算)
・糖尿病合併症管理料	・羊膜移植術
・がん性疼痛緩和指導管理料	・緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの))
・がん患者指導管理料イ	・緑内障手術(緑内障手術(流出路再建術(眼内法)及び水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術)
・がん患者指導管理料ロ	・緑内障手術(濾過胞再建術(needle法))
・がん患者指導管理料ハ	・経外耳道の内視鏡下鼓室形成術
・がん患者指導管理料ニ	・人工中耳植込術
・外来緩和ケア管理料	・植込型骨導補聴器(直接振動型)植込術、人工内耳植込術、植込型骨導補聴器移植術及び植込型骨導補聴器交換術
・移植後患者指導管理料(造血幹細胞移植後)	・内視鏡下鼻・副鼻腔手術V型(拡大副鼻腔手術)及び経鼻内視鏡下鼻副鼻腔悪性腫瘍手術(頭蓋底郭清、再建を伴うもの)
・移植後患者指導管理料(臓器移植後)	・鏡視下咽頭悪性腫瘍手術(軟口蓋悪性腫瘍手術を含む。)
・糖尿病透析予防指導管理料	・鏡視下咽頭悪性腫瘍手術(軟口蓋悪性腫瘍手術を含む。)(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)及び鏡視下喉頭悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・小児運動器疾患指導管理料	・内喉頭筋内注入術(ボツリヌス毒素によるもの)
・乳腺炎重症化予防ケア・指導料	・鏡視下喉頭悪性腫瘍手術
・婦人科特定疾患治療管理料	・喉頭形成手術(甲状軟骨固定用器具を用いたもの)
・一般不妊治療管理料	・上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科)、下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科)
・腎代替療法指導管理料	・内視鏡下甲状腺部分切除、腺腫摘出術、内視鏡下バセドウ甲状腺全摘(亜全摘)術(両葉)、内視鏡下副甲状腺(上皮小体)腺腫過形成手術
・生殖補助医療管理料2	・内視鏡下甲状腺悪性腫瘍手術
・二次性骨折予防継続管理料1	・頭頸部悪性腫瘍光線力学療法
・二次性骨折予防継続管理料3	・乳がんセンチネルリンパ節加算1及びセンチネルリンパ節生検(併用)
・下肢創傷処置管理料	・乳がんセンチネルリンパ節加算2及びセンチネルリンパ節生検(単独)
・院内トリアージ実施料	・乳腺悪性腫瘍手術(乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴わないもの)及び乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴うもの))
・外来放射線照射診療料	・ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)
・外来腫瘍化学療法診療料1	・胸腔鏡下拡大胸腺摘出術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・連携充実加算	・胸腔鏡下縦隔悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・ニコチン依存症管理料	・胸腔鏡下良性縦隔腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・がん治療連携計画策定料	・胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(区域切除で内視鏡手術用支援機器を用いる場合)

・外来排尿自立指導料	・肺悪性腫瘍手術(壁側・臓側胸膜全切除(横隔膜、心膜合併切除を伴うもの)に限る。)
・肝炎インターフェロン治療計画料	・胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(肺葉切除又は1肺葉を超えるもので内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・ハイリスク妊産婦連携指導料1	・胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(気管支形成を伴う肺切除)
・ハイリスク妊産婦連携指導料2	・胸腔鏡下食道悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・こころの連携指導料(Ⅱ)	・内視鏡下筋層切開術
・薬剤管理指導料	・食道縫合術(穿孔、損傷)(内視鏡によるもの)、内視鏡下胃、十二指腸穿孔縫合術、胃腸閉鎖術(内視鏡によるもの)、小腸腸閉鎖術(内視鏡によるもの)、結腸腸閉鎖術(内視鏡によるもの)、腎(腎盂)腸閉鎖術(内視鏡によるもの)、尿管腸閉鎖術(内視鏡によるもの)、膀胱腸閉鎖術(内視鏡によるもの)、胆腸腸閉鎖術(内視鏡によるもの)
・地域連携診療計画加算	・経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)
・検査・画像情報提供加算及び電子的診療情報評価料	・胸腔鏡下弁形成術
・医療機器安全管理料1	・胸腔鏡下弁形成術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・医療機器安全管理料2	・胸腔鏡下弁置換術
・医療機器安全管理料(歯科)	・経カテーテル弁置換術(経心尖大動脈弁置換術及び経皮的大動脈弁置換術)
・精神科退院時共同指導料1及び2	・経皮的僧帽弁クリップ術
・歯科治療時医療管理料	・不整脈手術左心耳閉鎖術(経カテーテル的手術によるもの)
・在宅患者訪問看護・指導料及び同一建物居住者訪問看護・指導料の注2	・経皮的中隔心筋焼灼術
・在宅酸素療法指導管理料の注2に規定する遠隔モニタリング加算	・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
・在宅持続陽圧呼吸療法指導管理料の注2に規定する遠隔モニタリング加算	・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術(リードレスペースメーカー)
・在宅植込型補助人工心臓(非拍動流型)指導管理料	・両心室ペースメーカー移植術(経静脈電極の場合)及び両心室ペースメーカー交換術(経静脈電極の場合)
・在宅腫瘍治療電場療法指導管理料	・植込型除細動器移植術(心筋リードを用いるもの)及び植込型除細動器交換術(心筋リードを用いるもの)
・持続血糖測定器加算(間歇注入シリンジポンプと連動する持続血糖測定器を用いる場合)及び皮下連続式グルコース測定	・植込型除細動器移植術(経静脈リードを用いるもの又は皮下植込型リードを用いるもの)、植込型除細動器交換術(その他のもの)及び経静脈電極抜去術
・持続血糖測定器加算(間歇注入シリンジポンプと連動しない持続血糖測定器を用いる場合)	・両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術(心筋電極の場合)及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術(心筋電極の場合)
・遺伝学的検査	・両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術(経静脈電極の場合)及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術(経静脈電極の場合)
・染色体検査の注2に規定する基準	・大動脈バルーンパンピング法(IABP法)
・骨髄微小残存病変量測定	・経皮的循環補助法(ポンプカテーテルを用いたもの)
・BRCA1/2遺伝子検査	・補助人工心臓
・がんゲノムプロファイリング検査	・植込型補助人工心臓(非拍動流型)
・先天性代謝異常症検査	・腹腔鏡下リンパ節群郭清術(傍大動脈)
・抗アデノ随伴ウイルス9型(AAV9)抗体	・腹腔鏡下リンパ節群郭清術(側方)
・HPV核酸検出及びHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)	<small>・腹腔鏡下小切開骨盤内リンパ節群郭清術、腹腔鏡下小切開後腹膜リンパ節群郭清術、腹腔鏡下小切開後腹膜腫瘍摘出術、腹腔鏡下小切開後腹膜悪性腫瘍手術、腹腔鏡下小切開副腎摘出術、腹腔鏡下小切開腎部分切除術、腹腔鏡下小切開腎摘出術、腹腔鏡下小切開尿管腫瘍摘出術、腹腔鏡下小切開腎(尿管)悪性腫瘍手術、腹腔鏡下小切開経肛腫瘍摘出術、腹腔鏡下小切開前立腺悪性腫瘍手術</small>
・検体検査管理加算(Ⅰ)	・内視鏡的逆流防止粘膜切除術
・検体検査管理加算(Ⅳ)	・腹腔鏡下十二指腸局所切除術(内視鏡処置を併施するもの)
・国際標準検査管理加算	・腹腔鏡下胃切除術(単純切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合))及び腹腔鏡下胃切除術(悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの))
・遺伝カウンセリング加算	・腹腔鏡下噴門側胃切除術(単純切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合))及び腹腔鏡下噴門側胃切除術(悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの))
・遺伝性腫瘍カウンセリング加算	・腹腔鏡下胃全摘術(単純全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合))及び腹腔鏡下胃全摘術(悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの))
・心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算	・バルーン閉塞下逆行性経静脈的塞栓術

・時間内歩行試験及びシヤトルウォーキングテスト	・腹腔鏡下胆嚢悪性腫瘍手術(胆嚢床切除を伴うもの)
・胎児心エコー法	・胆管悪性腫瘍手術(臍頭十二指腸切除及び肝切除(葉以上)を伴うものに限る。)
・ヘッドアップティルト試験	・体外衝撃波胆石破碎術
・人工膵臓検査、人工膵臓療法	・腹腔鏡下肝切除術
・長期継続頭蓋内脳波検査	・体外衝撃波碎石術
・終夜睡眠ポリグラフィ(安全精度管理下で行うもの)	・腹腔鏡下膵腫瘍摘出術
・脳波検査判断料1	・腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術
・神経学的検査	・腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・補聴器適合検査	・腔鏡下膵頭部腫瘍切除術
・ロービジョン検査判断料	・腹腔鏡下膵頭部腫瘍切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・コンタクトレンズ検査料1	・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
・小児食物アレルギー負荷検査	・腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・内服・点滴誘発試験	・腹腔鏡下副腎摘出術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)及び腹腔鏡下副腎髄質腫瘍摘出術(褐色細胞腫)(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
・前立腺針生検法(MRI撮影及び超音波検査融合画像によるもの)	・腹腔鏡下直腸切除・切断術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・経気管支凍結生検法	・体外衝撃波腎・尿管結石破碎術
・画像診断管理加算1	・腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)及び腹腔鏡下尿管悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
・画像診断管理加算2	・腹腔鏡下腎盂形成手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・ポジトロン断層撮影(アミロイドPETイメージング剤を用いた場合を除く。)	・同種死体腎移植術
・ポジトロン断層撮影(アミロイドPETイメージング剤を用いた場合に限る。)	・生体腎移植術
・ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影(アミロイドPETイメージング剤を用いた場合を除く。)	・膀胱水圧拡張術及びハンナ型間質性膀胱炎手術(経尿道)
・ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影(アミロイドPETイメージング剤を用いた場合に限る。)	・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・ポジトロン断層・磁気共鳴コンピューター断層複合撮影(アミロイドPETイメージング剤を用いた場合に限る。)	・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術
・CT撮影及びMRI撮影	・腹腔鏡下小切開膀胱悪性腫瘍手術
・冠動脈CT撮影加算	・人工尿道括約筋植込・置換術
・血流予備量比コンピューター断層撮影	・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術
・外傷全身CT加算	・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
・心臓MRI撮影加算	・腹腔鏡下仙骨腫固定術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・乳房MRI撮影加算	・腹腔鏡下腔式子宮全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・小児鎮静下MRI撮影加算	・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに対して内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・抗悪性腫瘍剤処方管理加算	・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る。)
・外来化学療法加算1	・胎児胸腔・羊水腔シャント術
・無菌製剤処理料	・体外式膜型人工肺管理料
・心大血管疾患リハビリテーション料(Ⅰ)	・医科点数表第2章第10部手術の通則の16に掲げる手術
・脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅰ)	・医科点数表第2章第10部手術の通則の19に掲げる手術(遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する乳房切除術に限る。)

・運動器リハビリテーション料(Ⅰ)	・医科点数表第2章第10部手術の通則の19に掲げる手術(遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する子宮附属器腫瘍摘出術)
・呼吸器リハビリテーション料(Ⅰ)	・輸血管理料Ⅰ
・摂食機能療法の注3に規定する摂食嚥下機能回復体制加算1	・輸血適正使用加算
・がん患者リハビリテーション料	・コーディネート体制充実加算
・リンパ浮腫複合的治療料	・同種クリオプレシピテート作製術
・経頭蓋磁気刺激療法	・人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
・歯科口腔リハビリテーション料2	・胃瘻造設時嚥下機能評価加算
・療養生活継続支援加算	・歯周組織再生誘導手術
・精神科作業療法	・広範囲顎骨支持型装置埋入手術
・抗精神病特定薬剤治療指導管理料(治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る。)	・麻酔管理料(Ⅰ)
・医療保護入院等診療料	・麻酔管理料(Ⅱ)
・硬膜外自家血注入	・周術期薬剤管理加算
・エタノールの局所注入(甲状腺)	・放射線治療専任加算
・エタノールの局所注入(副甲状腺)	・外来放射線治療加算
・人工腎臓	・高エネルギー放射線治療
・導入期加算3及び腎代替療法実績加算	・一回線量増加加算
・透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算	・強度変調放射線治療(IMRT)
・移植後抗体関連型拒絶反応治療における血漿交換療法	・画像誘導放射線治療(IGRT)
・磁気による膀胱等刺激法	・体外照射呼吸性移動対策加算
・CAD/CAM冠及びCAD/CAMインレー	・定位放射線治療
・歯科技工加算1及び2	・定位放射線治療呼吸性移動対策加算
・皮膚悪性腫瘍センチネルリンパ節生検加算	・画像誘導密封小線源治療加算
・自家脂肪注入	・保険医療機関間の連携におけるデジタル病理画像による術中迅速病理組織標本作製
・組織拡張器による再建手術(乳房(再建手術)の場合に限る。)	・保険医療機関間の連携におけるデジタル病理画像による迅速細胞診
・四肢・躯幹軟部悪性腫瘍手術及び骨悪性腫瘍手術の注に掲げる処理骨再建加算	・病理診断管理加算2
・骨移植術(軟骨移植術を含む。)(自家培養軟骨移植術に限る。)	・悪性腫瘍病理組織標本加算
・後縦靭帯骨化症手術(前方進入によるもの)	・口腔病理診断管理加算2
・椎間板内酵素注入療法	・クラウン・ブリッジ維持管理料
・腫瘍脊椎骨全摘術	・歯科矯正診断料
・脳腫瘍覚醒下マッピング加算	・顎口腔機能診断料(顎変形症(顎離断等の手術を必要とするものに限る。))の手術前後における歯科矯正に係るもの)
・原発性悪性脳腫瘍光線力学療法加算	・経皮的下肢動脈形成術
・脳刺激装置植込術及び脳刺激装置交換術	・歯科技工士連携加算2
・仙骨神経刺激装置植込術及び仙骨神経刺激装置交換術(過活動膀胱)	・緊急穿頭血腫除去術
・看護職員処遇改善評価料66	・腹腔鏡下膵中央切除術

・自己生体組織接着剤作成術	・精巣温存手術
・歯科技工士連携加算1及び光学印象歯科技工士連携加算	・ウイルス・細菌核酸多項目同時検出(髄液)
・胸腔鏡下肺切除術(区域切除及び肺葉切除術又は1肺葉を超えるものに限る。)(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・外来・在宅ベースアップ評価料(I)
・尿道狭窄グラフト再建術	・歯科外来・在宅ベースアップ評価料(I)
・がん薬物療法体制充実加算	・プログラム医療機器等指導管理料
・画像診断管理加算3	・不整脈手術(左心耳閉鎖術(胸腔鏡下によるもの)に限る。)
・入院ベースアップ評価料72	・ストーマ合併症加算
・慢性腎臓病透析予防指導管理料	・毛様体光凝固術(眼内内視鏡を用いるものに限る。)
・経頸静脈的肝生検	・乳腺悪性腫瘍ラジオ波焼灼療法(一連として)

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
“希少”および“遺伝性”に着目した希少遺伝性疾患診断後の患者・家族支援方法の確立	岡崎 哲也	遺伝子診療科	1,430,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
免疫チェックポイント阻害薬によるirAEの発症予測および診断のバイオマーカー探索	矢内 正晶	がんセンター	1,170,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
I型古典的樹状細胞は多発性骨髄腫の進行を促進する	鈴木 さやか	血液内科・臨床検査医学	1,690,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
大腸炎における活性イオウの機能解明	神田 努	消化器・腎臓内科学	1,300,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
先端的数据サイエンス技術を用いた臨床試験共有システムからの先進的エビデンス創出	砂田 寛司	新規医療研究推進センター	1,560,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
糖尿病性腎症における新しい非侵襲的な蛍光検査手法の確立	井山 拓治	腎センター	1,560,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
腎癌の術後補助療法に関する患者選別のバイオマーカーとなるmicroRNAの同定	岩本 秀人	腎泌尿器学	1,040,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
非小細胞肺癌に対する免疫チェックポイント阻害薬抵抗性の克服	木下 直樹	第三内科診療科群	1,300,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
同時性多発胃癌に対する光線力学的内視鏡イメージングの有用性と分子基盤の探索的研究	菓 裕貴	第二内科診療科群	1,820,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
腎特異的糖タンパク「ウロモジュリン」による糖尿病性腎症抑制	高田 知朗	第二内科診療科群	1,560,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
C6グリオーマ脳内移植モデルによる次世代ワクシニア腫瘍溶解ウイルスの治療効果の検討	神部 敦司	脳神経外科	1,300,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
包括的運動機能評価による人工関節置換術後のロコモティブシンドローム進行要因の解明	橘田 勇紀	リハビリテーション部	3,640,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
医療と教育をつなぐ算数障害診断評価ツールおよびトレーニングアプリの開発	大羽 沢子	ワークライフバランス支援センター	2,080,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
菌血症診断における次世代シーケンサーを用いた複数セット検査の意義の解明	北浦 剛	感染症内科	1,820,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
線維柱帯における眼圧感知メカニズムの追求	三宅 瞳	眼科	2,990,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業

人工知能(AI)によるアレルギー性結膜疾患診断支援システムの戦略的開発	佐々木 慎一	眼科	2,080,000	(補)委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
感染による角膜内皮細胞の機能変換の病態解明	春木 智子	眼科	650,000	(補)委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
B細胞関連因子を介した血管内皮の分化及び脈絡膜新生血管発生機序の探索	馬場 高志	眼科	390,000	(補)委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
肺腺癌におけるMaspinの発現状況と臨床病理学的因子との関連	大野 貴志	胸部外科診療科群	520,000	(補)委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
乳癌患者の予後不良に関与するMaspinの局在と機能との関連性の解明	若原 誠	胸部外科診療科群	910,000	(補)委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
肺高悪性度神経内分泌癌の分子標的治療と免疫療法による新規治療開発と耐性機序の解析	春木 朋広	胸部外科診療科群	1,170,000	(補)委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
薬剤関連顎骨壊死における新規細胞医薬治療戦略	奈良井 節	口腔顎顔面外科学	1,560,000	(補)委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
難治性癌における新たな悪性度・薬剤耐性に関するメカニズムの解明と新規治療薬の開発	宍戸 裕二	高次集中治療部	1,560,000	(補)委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
筋質はCKD患者の予後規定因子となるか？	前 ゆかり	高次集中治療部	390,000	(補)委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
在宅酸素療法を可能にする自動酸素流量調整装置の開発のための基盤研究	山本 章裕	高度救命救急センター	1,170,000	(補)委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
子宮内膜症の病変組織に特徴的なエストロゲン受容体発現を標的とする新規治療薬の開発	伊澤 正郎	産科婦人科学	1,300,000	(補)委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
子宮内膜症発生仮説としての「子宮内膜移植説」の解明:腹膜由来分子の役割に注目して	谷口 文紀	産科婦人科学	910,000	(補)委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
涙液エクソソーム解析による非侵襲的未熟児網膜症スクリーニング手法の確立	魚谷 竜	視覚病態学	2,080,000	(補)委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
眼感染症病巣のRNAシーケンス網羅解析による病態解明	井上 幸次	視覚病態学	1,560,000	(補)委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
人工知能(AI)による感染性角膜炎診断支援システムの戦略的開発	宮崎 大	視覚病態学	520,000	(補)委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
口腔扁平上皮癌患者の不良予後に関与するMaspinの分子機構の解明	川崎 誠	歯科口腔外科	650,000	(補)委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
PHD阻害剤を用いたがん微小環境の改善による頭頸部癌新規治療戦略の開発	小山 哲史	耳鼻咽喉・頭頸部外科学	1,300,000	(補)委	日本学術振興会 科学研究費助成事業

頭頸部癌を標的としたセラミドリポソーム製剤による治療探索	藤原 和典	耳鼻咽喉・頭頸部外科学	1,560,000	(補)委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
高血糖に応答する新規炎症細胞を介した急性呼吸窮迫症候群の発症・重篤化機構の解明	倉敷 達之	手術部	2,340,000	(補)委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
呼気窒素酸化物計測の侵襲時のモニタリングとしての有用性と早期介入への応用	船木 一美	手術部	1,170,000	(補)委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
PAPP-A2を介したIGF-1の生体利用率調節と出生時体格の関係性解明	藤本 正伸	周産期・小児医学	260,000	(補)委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
網羅的解析による、インスリン様成長因子-1不応症の成長障害の分子基盤解明	難波 範行	周産期・小児医学	1,170,000	(補)委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
うつが心不全を重症化する分子機序を解明し心不全治療戦略の再構築を目指す探索的研究	山本 一博	循環器・内分泌代謝内科学	2,210,000	(補)委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
性腺機能の老化と心房細動発症の関連の解明	加藤 克	循環器・内分泌代謝内科学	650,000	(補)委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
エクソソーム解析によるインスリン抵抗性の分子病態の解明	大倉 毅	循環器・内分泌代謝内科学	1,820,000	(補)委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
センダイウイルスによる可逆的不死化卵巣癌細胞株の樹立と性状解析	小松 宏彰	女性診療科群	650,000	(補)委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
新生児の解剖学・生理学的特徴に基づく直視下およびビデオ喉頭鏡の同時開発	三浦 真澄	小児科	2,470,000	(補)委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
低真空走査電子顕微鏡による移植腎抗体関連型拒絶反応の早期診断方法の新規開発	横山 浩己	小児科	650,000	(補)委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
若年者ピロリ検診の実装化とピロリ胃炎進展メカニズムの解明	八島 一夫	消化器・腎臓内科学	1,040,000	(補)委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
膵癌に対するがん治療用ウイルスを用いた革新的治療法の開発	坂本 照尚	消化器・小児外科学	1,170,000	(補)委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
胃癌腹膜転移の治療抵抗性に関するメカニズムの解明	松永 知之	消化器・小児外科学	1,300,000	(補)委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
微小管ダイナミクスに着目した食道癌の新規治療法開発	藤原 義之	消化器・小児外科学	1,430,000	(補)委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
脂肪細胞由来幹細胞exosomeを用いた新規cell-free心筋再生療法の開発	吉川 泰司	心臓血管外科学	1,430,000	(補)委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
Alzheimer型認知症の機能性排尿障害における中枢性アンジオテンシンⅡの関与	川本 文弥	腎泌尿器学	1,560,000	(補)委	日本学術振興会 科学研究費助成事業

キチンナノファイバーを用いた即効性手術用止血剤の開発	武中 篤	腎泌尿器学	910,000	(補)委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
膜融合性リポソームを用いたSKチャネル開口薬膀胱内注入の確立	本田 正史	腎泌尿器学	910,000	(補)委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
ラット坐骨神経損傷モデルに対するキチンナノファイバーの神経再生促進効果	金谷 治尚	整形外科	1,430,000	(補)委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
キチンナノファイバーを用いた脊髄損傷治療	三原 徳満	整形外科	1,937,000	(補)委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
変形性関節症の組織学的病態解明に基づく血管新生阻害薬の発展	柳樂 慶太	整形外科	1,170,000	(補)委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
ケトン体はうつ病、PTSDの新たな治療となりうるか	山梨 豪彦	精神科	2,210,000	(補)委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
児童青年期ゲーム障害患者の症状形成過程解明に向けた類型化と養育者調査	大立 博昭	精神科	910,000	(補)委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
β ヒドロキシ酪酸の抗うつメカニズムの解明と炎症標的新規抗うつ薬としての臨床開発	岩田 正明	精神行動医学	5,200,000	(補)委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
β ヒドロキシ酪酸を用いた小児期自閉スペクトラム症の病態解析	梶谷 直史	精神行動医学	2,340,000	(補)委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
5-アミノレブリン酸によるがん悪液質改善効果の検討	河野 友輔	第一外科診療科群	3,250,000	(補)委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
膵癌Exosomal Tyro3を介した内皮間葉転換と膵癌進展機構の解明	花木 武彦	第一外科診療科群	1,430,000	(補)委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
消化器癌における制御性B細胞とアデノシン産生酵素の発現および分化誘導因子の検討	岸野 幹也	第一外科診療科群	1,430,000	(補)委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
胃癌腹膜播種腹水中エクソソーム内包microRNAが抗癌剤薬剤耐性を誘導するか	宮谷 幸造	第一外科診療科群	1,300,000	(補)委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
染色体工学技術と次世代シーケンス解析の融合による膵がんの新規がん抑制経路の同定	坂野 悠	第一外科診療科群	1,950,000	(補)委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
IFALDにおけるKupffer細胞/xCT関連病態の解明と分子標的治療に関する探索	長谷川 利路	第一外科診療科群	2,340,000	(補)委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
新規チロシンキナーゼ受容体による膵癌の薬剤治療抵抗性メカニズムの解明と治療応用	山本 学	第一外科診療科群	2,210,000	(補)委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
膵癌における制御性Bリンパ球とアデノシン産生酵素(CD39、CD73)の検討	村上 裕樹	第一外科診療科群	2,470,000	(補)委	日本学術振興会 科学研究費助成事業

キチンナファイバーのTGF- β /Smad経路を介した肝切後胆汁漏予防効果の検討	徳安 成郎	第一外科診療科群	1,820,000	(補)委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
血液中の自己抗体を用いた難治性内分泌腫瘍の新規悪性度判定法開発	伊澤 正一郎	第一内科診療科群	1,170,000	(補)委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
血液腫瘍診療の連続性向上のための適切な医師間連携ツールの研究開発	今岡 慎太郎	地域医療学	377,000	(補)委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
地域におけるエンパシー教育プログラムの開発とコミュニティウェルビーイングへの影響	孫 大輔	地域医療学	910,000	(補)委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
文化人類学の知見を活かした総合診療専門医の教育方法の構築	谷口 晋一	地域医療学	1,170,000	(補)委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
健診・医療・介護一体型ビッグデータの推移から介護予防対象者を把握する指標の探索	浜田 紀宏	地域医療学	1,170,000	(補)委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
小児てんかんへの頭皮脳波周波数解析によるてんかん分類方法の確立	岡西 徹	脳神経小児科学	1,170,000	(補)委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
脳梗塞患者に対するICTツールを用いた啓発・相談体制構築の効果	河瀬 真也	脳神経内科	1,430,000	(補)委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
パーキンソン病患者の認知的アパシーと認知的負荷および遅延負荷感受性	永瀬 麻子	脳神経内科学	3,250,000	(補)委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
パーキンソン症候群におけるChromogranin Bなどバイオマーカー臨床応用	瀧川 洋史	脳神経内科学	1,170,000	(補)委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
手術用鉗子における電磁ノイズ等の影響を受けない圧光干渉による力覚センサ機構の確立	森實 修一	泌尿器科	520,000	(補)委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
染色体工学技術を利用した膀胱がんの発がんと進展過程における分子メカニズムの解明	清水 龍太郎	泌尿器科	1,560,000	(補)委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
機械学習を用いた頭頸部癌術後放射線治療におけるリンパ領域自動描出法の確立	吉田 賢史	放射線治療科	1,690,000	(補)委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
lncRNAによる癌幹細胞制御メカニズムに基づいた肝細胞癌治療・診断法の開発	坂口 弘美	放射線治療科	0	(補)委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
高侵襲暴露後の脳内炎症におけるオピオイド鎮痛薬の影響	大槻 明広	麻酔・集中治療医学	1,560,000	(補)委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
HSPによる心臓eNOS活性化の分子解明と薬理的プレコンディショニングの開発	湊 弘之	麻酔・集中治療医学	1,690,000	(補)委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
重症熱傷における神経筋連環の解明	北川 良憲	麻酔診療科群	1,560,000	(補)委	日本学術振興会 科学研究費助成事業

TDMによる睡眠薬適正使用推進と薬局での臨床応用を目指した基盤構築	藤吉 正哉	薬剤部	1,170,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
COVID-19に対する可溶性ULBP2制御によるNK細胞療法の開発	千酌 浩樹	臨床感染症学	1,170,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
南海トラフ地震等大規模激甚災害時のドクターヘリ運用体制構築に向けた研究	本間 正人	救急・災害医学	1,960,000	補 委	厚生労働省 厚生労働科学特別研究事業
小児急性脳症の早期診断・最適治療・ガイドライン策定に向けた体制整備	前垣 義弘	脳神経小児科学	600,000	補 委	厚生労働省 難治性疾患政策研究事業
神経皮膚症候群および色素性乾皮症・ポルフィリン症の学際的診療体制に基づく医療最適化と患者QOL向上のための研究	吉田 雄一	皮膚科学	1,000,000	補 委	厚生労働省 難治性疾患政策研究事業
大規模災害時における地域連携を踏まえた更なる災害医療提供体制強化に関する研究	本間 正人	救急・災害医学	300,000	補 委	厚生労働省 地域医療基盤開発推進研究事業
神経変性疾患領域における難病の医療水準の向上や患者のQOL向上に資する研究	花島 律子	脳神経内科学	600,000	補 委	厚生労働省 難治性疾患政策研究事業
運動失調症の医療水準、患者QOLの向上に資する研究班	花島 律子	脳神経内科学	700,000	補 委	厚生労働省 難治性疾患政策研究事業
ライソゾーム病、ペルオキシソーム病(副腎白質ジストロフィーを含む)における早期診断・早期治療を可能とする診療提供体制の確立に関する研究	成田 綾	脳神経小児科	480,000	補 委	厚生労働省 難治性疾患政策研究事業
先天性骨系統疾患の医療水準と患者QOLの向上を目的とした研究	難波 範行	周産期・小児医学	500,000	補 委	厚生労働省 難治性疾患政策研究事業
ホルモン受容機構異常に関する調査研究	難波 範行	周産期・小児医学	550,000	補 委	厚生労働省 難治性疾患政策研究事業
「山陰から全国へ」地域密着型医療機器開発拠点の展開プログラム	武中 篤	医学部附属病院	9,999,990	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構 次世代医療機器連携拠点整備等事業
副腎性クッシング症候群・サブクリニカルクッシング症候群における合併症治療指針の作成	伊澤 正一郎	第一内科診療科群	50,000	補 委	国立研究開発法人国立国際医療研究センター 受託研究費
電子カルテ情報活用型多施設症例データベースを利用した糖尿病に関する臨床情報収集に関する研究(J-DREAMS)	大倉 毅	第一内科診療科群	300,000	補 委	国立研究開発法人国立国際医療研究センター 受託研究費
特定非営利活動法人日本脳神経血管内治療学会データベースを用いた観察研究	坂本 誠	脳神経外科学	10,000	補 委	特定非営利活動法人日本脳神経血管内治療学会 受託研究費

EGFR遺伝子L858R変異陽性進行再発非扁平上皮非小細胞肺癌に対するエルロチニブ+ラムシルマブとオシメルチニブを比較する第Ⅲ相臨床試験 (REVOL858R trial) (WJOG14420L)	阪本 智宏	第三内科診療科群	550,000	補 委	特定非営利活動法人西日本がん研究機構 受託研究費
皮膚腫瘍の臨床情報と紐づけた臨床画像データの提供(多施設共同研究)	吉田 雄一	皮膚科学	119,000	補 委	国立大学法人信州大学 受託研究費
小児の複数回再発・難治ALLに対する少量シタラビンとブリナツモマブによる寛解導入療法の第Ⅱ相試験	奥野 啓介	周産期・小児医学	612,000	補 委	特定非営利活動法人日本小児がん研究グループ 受託研究費
転移性去勢抵抗性前立腺癌に対するアパルタミドの有効性・安全性の評価を目的とした多施設共同単群試験	武中 篤	腎泌尿器学	165,000	補 委	国立大学法人神戸大学 受託研究費
「循環器疾患診療実態調査(JROAD)のデータベースによる心臓サルコイドーシスの診療実態調査と二次調査に基づく診断・治療プロトコルの策定に関する研究」(MYSTICS)	衣笠 良治	循環器・内分泌代謝内科学	3,000	補 委	国立研究開発法人国立循環器病研究センター 受託研究費
pStageⅡ大腸癌に対するOSNA法によるリンパ節微小転移診断意義の検討	木原 恭一	第一外科診療科群	2,200	補 委	特定非営利活動法人臨床試験支援センター 受託研究費
高TG血症合併NAFLDに対するペマフィブラート、フェノフィブラートの無作為比較試験—多施設共同、オープン試験	杉原 誉明	第二内科診療科群	5,500	補 委	公立大学法人横浜市立大学 受託研究費
先天性心疾患を伴う肺高血圧症例の多施設症例登録研究	美野 陽一	周産期・小児医学	30,000	補 委	国立大学法人東京医科歯科大学 受託研究費
内視鏡下甲状腺手術でのAIによる画像認識技術を用いたリアルタイムナビゲーションシステムの開発	福原 隆宏	耳鼻咽喉・頭頸部外科学	60,000	補 委	国立研究開発法人国立がん研究センター 受託研究費
産婦人科における内視鏡外科手術動画等を用いた多施設データベースの構築及び利活用	小松 宏彰	女性診療科群	230,000	補 委	国立研究開発法人国立がん研究センター 受託研究費
COVID-19後遺症に関する実態調査(中等症以上対象)付随研究 COVID-19退院1年後の健康状態に関する調査研究	舟木 佳弘	高次集中治療部	26,000	補 委	国立大学法人高知大学 受託研究費
内視鏡外科手術におけるAI自動技術評価システムの構築	小松 宏彰	女性診療科群	300,000	補 委	国立研究開発法人国立がん研究センター 受託研究費
患者レジストリを活用した筋萎縮性側索硬化症治療薬開発のための第2相医師主導治験(責任医師としての治験・臨床研究の実施)	渡辺 保裕	脳神経内科学	1,300,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構 受託研究費
小児のウイルス性肝炎の経過及び治療選択に関する研究(小児C型慢性肝炎に対するDAA治療に関する研究)	村上 潤	小児科	260,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構 受託研究費

ROS1融合遺伝子陽性の進行固形がんに対する治療開発を目指した研究 (ROS1融合遺伝子陽性の進行固形がん患者を対象とした、ブリグチニブの多施設共同バスケット試験(医師主導治験)。遺伝子スクリーニング、コンパニオン診断薬の開発および臨床ゲノムデータベースの構築)	小谷 昌広	がんセンター	390,000	補 ⓪	国立研究開発法人日本医療研究開発機構 受託研究費
未診断疾患イニシアチブ(Initiative on Rare and Undiagnosed Disease(IRUD)):希少未診断疾患に対する診断プログラムの開発に関する研究(中国地区における未診断疾患に対する診断体制の構築に関する研究)	前垣 義弘	脳神経小児科	10,400,000	補 ⓪	国立研究開発法人日本医療研究開発機構 受託研究費
進行性核上性麻痺と大脳皮質基底核変性症を対象とした多施設共同前向きコホート研究による質の高い診療エビデンスの構築(患者レジストリに基づく臨床・画像データ解析)	花島 律子	脳神経内科学	3,055,000	補 ⓪	国立研究開発法人日本医療研究開発機構 受託研究費
膵癌ハイリスク群を対象とした「胃カメラしながら膵がん検診」の社会実装に向けた前向き追跡研究(対象者の登録と検査)	松本 和也	消化器・腎臓内科学	650,000	補 ⓪	国立研究開発法人日本医療研究開発機構 受託研究費
十二指腸洗浄回収液を用いた膵管内乳頭粘液性腫瘍の精密ゲノム悪性度診断(対象者の登録と検査)	松本 和也	消化器・腎臓内科学	1,560,000	補 ⓪	国立研究開発法人日本医療研究開発機構 受託研究費
ライフステージに応じた子宮内膜症の予防・治療のためのエビデンスの創出(子宮内膜症の病態に関わる分子解析・機能解析)	谷口 文紀	産科婦人科学	1,300,000	補 ⓪	国立研究開発法人日本医療研究開発機構 受託研究費
前眼部疾患AI診断支援システムに関する研究開発(スマートフォンなど非医療機器画像への適応)	宮崎 大	視覚病態学	975,000	補 ⓪	国立研究開発法人日本医療研究開発機構 受託研究費
手術支援ロボットを用いた遠隔手術の実現に向けた実証研究 (遠隔手術実施のためのガイドライン改訂に向けた実証研究成果の反映)	中村 廣繁	呼吸器・乳腺内分泌外科学	429,000	補 ⓪	国立研究開発法人日本医療研究開発機構 受託研究費
ヒト抗ULBP2抗体による新しいがん免疫治療	山口 耕介	呼吸器・膠原病内科学	2,500,000	補 ⓪	国立研究開発法人日本医療研究開発機構 受託研究費
全世代対応型遠隔メンタルヘルスケアシステム(KOKOROBO-J)によるメンタルヘルスプラットフォームの開発・社会実装拠点に関する鳥取大学による研究開発	岩田 正明	精神行動医学	1,040,000	補 ⓪	国立研究開発法人科学技術振興機構 受託研究費

(注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	筆頭著者の特定機能病院における所属	題名	雑誌名・出版年月等	論文種別
1	Yosuke Nakamura, Yuko Yokoyama, Kenichiro Nakajima, Tet al.	耳鼻咽喉科	Serum periostin levels in adolescents	Asian Pac J Allergy Immunol. 2023 Jun;41(2):121-126.	Original Article
2	Tokumitsu Mihara, Shinji Tanishima, Chikako Takeda, et al.	整形外科	Direct osteosynthesis in hangman's fracture risks vertebral artery injury	J Orthop Sci. 2023 Jul;28(4):907-910.	Case report
3	Hidefumi Amisaki, Atsushi Kambe, Uno Tetsuji, et al.	脳神経外科	High-Grade Optic Glioma in an Elderly Patient With Neurofibromatosis Type 1	J Neuroophthalmol. 2023 Dec 1;43(4):e221-e223.	Case report
4	Kensaku Yamaga, Satoshi Kuwamoto, Shinji Tanishima, et al.	整形外科	An unresectable osteosarcoma of the axis controlled with denosumab	J Orthop Sci. 2024 Jan;29(1):379-383.	Case report
5	Yasushi Yoshikawa, Yuichiro Kishimoto, Takeshi Onohara, et al.	心臓血管外科	Safe launch of a robotically assisted mitral valve repair program in a single center: experience of initial 20 cases under the Center for Minimally Invasive Surgery	J Artif Organs. 2023 Sep;26(3):226-232.	Original Article
6	Satoshi Koyama, Hiroaki Ehara, Ryohei Donishi, et al.	頭頸部診療科群	Photoimmunotherapy with surgical navigation and computed tomography guidance for recurrent maxillary sinus carcinoma	Auris Nasus Larynx. 2023 Aug;50(4):646-651.	Case report
7	Hiroaki Komatsu, Osamu Hiraike, Rie Fukuhara, et al.	女性診療科群	Is there a need for a technical certification system for gynecological robotic surgery? Questionnaire survey of members of the Japan Society of Gynecologic and Obstetric Endoscopy and Minimally Invasive Therapy	J Robot Surg. 2023 Jun;17(3):1125-1131.	Original Article
8	Tomooki Takata, Hajime Isomoto	腎臓内科	The Versatile Role of Uromodulin in Renal Homeostasis and Its Relevance in Chronic Kidney Disease	Intern Med. 2024 Jan 1;63(1):17-23.	Review
9	Teruhisa Sakamoto, Yuki Murakami, Takehiko Hanaki, et al.	消化器外科	Evaluation of perioperative D-dimer concentration for predicting postoperative deep vein thrombosis following hepatobiliary-pancreatic surgery	Surg Today. 2023 Jul;53(7):773-781.	Original Article
10	Koji Ishida, Shinji Tanishima, Atsushi Tanida, et al.	整形外科	Comprehensive analysis of microRNA expression in lumbar facet joint capsules and synovium of patients with osteoarthritic: Comparison between early-stage and late-stage osteoarthritic samples from a single individual	J Orthop Sci. 2024 Mar;29(2):660-667.	Original Article
11	Takuya Iwamoto, Yuki Hatayama, Hiroya Namba, et al.	検査部	Fibrin monomer complex as a potential thrombosis marker related to venous thromboembolism risk in pregnant women	Ann Clin Biochem. 2023 Jul;60(4):279-285.	Original Article
12	Keiko Nagata, Kazuhiko Hayashi, Keisuke Kumata, et al.	薬物療法内科	Epstein-Barr virus reactivation in peripheral B lymphocytes induces IgM-type thyrotropin receptor autoantibody production in patients with Graves' disease	Endocr J. 2023 Jun 28;70(6):619-627.	Original Article
13	Yuji Shishido, Tomoyuki Matsunaga, Makoto Yamasaki, et al.	消化器外科	Right thoroscopic resection in the supine position for recurrent pretracheal lymph nodes after esophagectomy	Asian J Endosc Surg. 2023 Jul;16(3):571-574.	Case report
14	Takehiko Yamanashi, Eleanor J Sullivan, Katie R Comp, et al.	精神科	Anti-inflammatory medication use associated with reduced delirium risk and all-cause mortality: A retrospective cohort study	J Psychosom Res. 2023 May;168:11212.	Original Article
15	Noriya Yamaguchi, Shuichi Morizane, Tetsuya Yumioka, et al.	泌尿器科	Effect of Adjuvant Systemic Chemotherapy on Intravesical Recurrence After Radical Nephroureterectomy for Upper Urinary Tract Urothelial Carcinoma	Anticancer Res. 2023 Apr;43(4):1725-1730.	Original Article
16	Hiroaki Komatsu, Fuminori Taniguchi, Tasuku Harada	助成診療科	Impact of myomectomy on the obstetric complications: A large cohort study in Japan	Int J Gynaecol Obstet. 2023 Sep;162(3):977-982.	Original Article
17	Hiroyuki Sato, Takushi Takata, Yoshinori Sakurai	放射線部	Investigation of the usability of cone-beam computed tomography images using digital radiography equipment for boron neutron capture therapy treatment planning in the sitting position	Appl Radiat Isot. 2023 Jun;196:110793.	Original Article
18	Yasushi Yoshikawa, Yuichiro Kishimoto, Takeshi Onohara, et al.	心臓血管外科	Robot-Assisted Aortic Valve Replacement – First Clinical Report in Japan	Circ J. 2023 May 25;87(6):847-851.	Others
19	Kozo Miyatani, Yu Sakano, Masahiro Makinoya, et al.	消化器外科	A low cumulative perioperative prognostic nutritional index predicts poor long-term outcomes in patients with gastric cancer: A single-center retrospective study in Japan	Surg Today. 2023 Nov;53(11):1294-1304.	Original Article
20	Akira Yamasaki	呼吸器膠原病内科	Editorial: Airway remodeling in asthma-what is new?	Front Allergy. 2023 Apr 5;4:1129840.	Others
21	Tsuyoshi Okura, Risa Nakamura, Mari Anno, et al.	内分泌代謝内科	Aldehyde dehydrogenase 2 polymorphism is an important gene for insulin resistance in Japanese patients with type 2 diabetes	Metabol Open. 2023 Apr 10;18:100242.	Original Article
22	Hiroki Kurumi, Naoyuki Yamaguchi, Hajime Isomoto	消化器内科	Appropriate interval of surveillance endoscopy for early detection of gastric cancer	Dig Endosc. 2023 Jul;35(5):603-605.	Others
23	Keita Nagira, Tomofumi Ogoshi, Keiichi Akahori, et al.	整形外科	Factors associated with mortality in patients with extremity necrotizing soft-tissue infections: a single academic center experience	Langenbecks Arch Surg. 2023 May 11;408(1):189.	Case report
24	Yohei Takeda, Kazuya Matsumoto, Takumi Onoyama, et al.	消化器内科	Pancreatic Juice Cytology Evaluations Using Synthetic Secretin and Serial Pancreatic Juice Aspiration Cytological Examination for the Diagnosis of Pancreatic Ductal Adenocarcinoma	Diagnostics (Basel). 2023 Apr 25;13(9):1536.	Original Article
25	Yuki Murakami, Teruhisa Sakamoto, Takehiko Hanaki, et al.	消化器外科	Current Value of Perioperative Therapies for Resectable or Borderline Resectable Pancreatic Cancer	Yonago Acta Med. 2023 May 10;66(2):202-207.	Review
26	Tomoya Harada, Genki Inui, Hiroki Ishikawa, et al.	呼吸器膠原病内科	The Clinical Characteristics of Allergic Bronchopulmonary Mycosis Differ Among Pathogenic Fungi	Yonago Acta Med. 2023 May 12;66(2):257-262.	Original Article
27	Yuki Hatayama, Yukari Endo, Nao Kojima, et al.	検査部	Construction of an Automatic Quantification Method for Bone Marrow Cellularity Using Image Analysis Software	Yonago Acta Med. 2023 May 10;66(2):322-325.	Others
28	Tomoyuki Matsunaga, Yuji Shishido, Hiroaki Saito, et al.	消化器外科	Impact of Robot-Assisted Minimally Invasive Esophagectomy for Esophageal Cancer: A Propensity Score-Matched Short-Term Analysis	Yonago Acta Med. 2023 May 3;66(2):239-245.	Original Article
29	Yasushi Yoshikawa, Satoru Kishimoto, Shohei Takasugi, et al.	心臓血管外科	Role of Aggressive Aneurysm Sac Embolization Before Endovascular Abdominal Aneurysm Repair in Preventing Type II Endoleak and Sac Expansion	Yonago Acta Med. 2023 Apr 26;66(2):232-238.	Original Article
30	Satoshi Koyama, Hiroaki Ehara, Ryohei Donishi, et al.	耳鼻咽喉科	Olanzapine for The Prevention of Nausea and Vomiting Caused by Chemoradiotherapy with High-Dose Cisplatin for Head and Neck Cancer	Yonago Acta Med. 2023 Apr 20;66(2):208-213.	Original Article
31	Teruaki Hayashi, Takehiko Yamanashi, Masahiro Tanaka, et al.	精神科	Trends and Characteristics of Suicide-Related Behaviors Before and After the COVID-19 Epidemic in Tottori, Japan: A Retrospective Study	Yonago Acta Med. 2023 May 25;66(2):263-272.	Original Article
32	Hiroyuki Sato, Takushi Takata, Minoru Suzuki, et al.	放射線部	Influence of lung physical density on dose calculation in boron neutron capture therapy for malignant pleural mesothelioma	Appl Radiat Isot. 2023 Aug;198:110857.	Original Article
33	Takuya Kihara, Takaaki Sugihara, Suguru Ikeda, et al.	消化器内科	Identification and Quantification of Jaundice by Trans-Conjunctiva Optical Imaging Using a Human Brain-like Algorithm: A Cross-Sectional Study	Diagnostics (Basel). 2023 May 17;13(10):1767.	Others
34	Yasuhiro Watanabe, Suzuha Takeuchi, Kazutake Uehara, et al.	脳神経内科	Clinical availability of eye movement during reading	Neurosci Res. 2023 Oct;195:52-61.	Original Article
35	Kenji Yasuda, Tomohiro Haruki, Tatsuya Miyamoto, et al.	呼吸器外科	Dynamic transition of molecular subtypes in relapsed small cell lung cancer treated with multimodal therapy: A case report	Thorac Cancer. 2023 Jul;14(20):2001-2004.	Case report
36	Kenkichiro Taira, Satoshi Koyama, Tsuyoshi Morisaki, et al.	耳鼻咽喉科	Nasogastric Tube Syndrome: A Severe Complication of Nasointestinal Ileus Tube	Case Rep Gastroenterol. 2023 Apr 13;17(1):191-196.	Case report
37	Kento Ikuta, Yoshiko Suyama, Kohei Fukuko, et al.	形成外科	Factors Associated with Complications after Total Pharyngo-Laryngo-Esophagectomy and Free Jejunal Flap Reconstruction	ORL J Otorhinolaryngol Relat Spec. 2023 Jun 7;1-9. Online ahead of print.	Original Article
38	Yu Kamitani, Kouichi Nonaka, Yoshitsugu Misumi, et al.	消化器内科	Safe and Efficient Procedures and Training System for Endoscopic Submucosal Dissection	J Clin Med. 2023 May 26;12(11):3692.	Review
39	Yoshiharu Kinugasa, Takeshi Sota, Kensuke Nakamura, et al.	循環器内科	Association of carnitine insufficiency with sarcopenia and dyspnea in patients with heart failure	Geriatr Gerontol Int. 2023 Jul;23(7):524-530.	Original Article
40	Yuki Iida, Mitsuhiro Osaki, Shinya Sato, et al.	女性診療科群	AMIGO2 expression as a predictor of recurrence in cervical cancer with intermediate risk	Mol Clin Oncol. 2023 May 26;19(1):56.	Original Article
41	Nao Takanashi, Tomoko Haruki, Dai Miyazaki, et al.	眼科	Effects of the pharmaceutical formulation of topical medications on corneal epithelial healing after phototherapeutic keratectomy	Jpn J Ophthalmol. 2023 Jul;67(4):424-430.	Original Article
42	Shota Shimizu, Jumpei Kondo, Kunishige Onuma, et al.	消化器外科	Inhibition of the bone morphogenetic protein pathway suppresses tumor growth through downregulation of epidermal growth factor receptor in MEK/ERK-dependent colorectal cancer	Cancer Sci. 2023 Sep;114(9):3636-3648.	Original Article
43	Eri Hirai, Tomoko Haruki, Takashi Baba, et al.	眼科	Analyses of Dupilumab-Related Ocular Adverse Drug Reactions Using the WHO's Vigibase	Adv Ther. 2023 Sep;40(9):3830-3856.	Original Article
44	Masayuki Sakuwa, Tadashi Adachi, Yuki Suzuki, et al.	脳神経内科	Neuropathological analysis of cognitive impairment in progressive supranuclear palsy	J Neurol Sci. 2023 Aug 15;451:120718.	Original Article
45	Yuichiro Ikebuchi, Hiroki Sato, Haruo Ikeda, et al.	消化器内科	Clinical characteristics of absent contractility and ineffective esophageal motility: a multicenter study in Japan	J Gastroenterol Hepatol. 2023 Nov;38(11):1926-1933.	Original Article
46	Shuichi Morizane, Hubert Stein, Takayuki Komiya, et al.	泌尿器科	Retropertoneal robot-assisted laparoscopic nephroureterectomy using the da Vinci Xi and SP systems: Initial experiences in cadaveric models	Investig Clin Urol. 2023 Jul;64(4):380-387.	Original Article
47	Yuki Hatayama, Kanako Watanabe, Hitomi Ichikawa, et al.	検査部	Differential Reactivation of Cytomegalovirus and Epstein-Barr Virus in Patients with B Cell Lymphoma	Viral Immunol. 2023 Oct;36(8):520-525.	Original Article
48	Hiroki Kohno, Takuji Omoto, Tomohiro Taniguchi	呼吸器膠原病内科	Septic shock due to Pseudomonas fulva potentially caused by percutaneous infection: A case report	IDCases. 2023 Jul 2;33:e01836.	Case report
49	Yuto Arai, Tohru Okanishi, Sotaro Kanai, et al.	脳神経小児科	Identifying risk factors for adverse events of pyridoxal phosphate in infantile epileptic spasms syndrome	Epilepsy Behav. 2023 Aug;145:109348.	Original Article
50	Takenobu Murakami, Masafumi Kishi, Naoki Tokuda, et al.	脳神経内科	Repeated Acute Exacerbations of Chronic Inflammatory Demyelinating Polyradiculoneuropathy Accompanied by Pain and Swelling in Distal Extremities	Intern Med. 2024 Mar 1;63(5):733-737.	Case report
51	Hiroaki Yazama, Shiro Arai, Hideyuki Kataoka, et al.	耳鼻咽喉科	In Vivo Measurement of Ear Ossicle and Bony Wall Vibration by Sound Stimulation of Cartilage Conduction	Audiol Res. 2023 Jul 12;13(4):495-505.	Original Article
52	Yuki Iida, Hiroaki Komatsu, Akiko Kudoh, et al.	女性診療科群	The learning curve of introduced robotic-assisted hysterectomy versus skilled laparoscopic hysterectomy for benign gynecologic diseases	J Obstet Gynaecol Res. 2023 Oct;49(10):2494-2500.	Original Article
53	Shinya Fujii, Takuro Gonda, Hiroto Yunaga	放射線科	Clinical Utility of Diffusion-Weighted Imaging in Gynecological Imaging: Revisited	Invest Radiol. 2024 Jan 1;59(1):78-91.	Review
54	Shota Shimizu, Tomoyuki Matsunaga, Shohei Sawata, et al.	消化器外科	Preoperative Osteopenia is a Risk Factor for Death in Patients Undergoing Gastrectomy for Gastric Cancer	Anticancer Res. 2023 Aug;43(8):3665-3672.	Original Article
55	Yukako Matsuki, Takaaki Sugihara, Takuya Kihara, et al.	消化器内科	COVID-19-Triggered Acute Liver Failure and Rhabdomyolysis: A Case Report and Review of the Literature	Viruses. 2023 Jun 27;15(7):1445.	Case report
56	Masayuki Endo, Shuichi Yamamoto, Shinsaku Yata, et al.	放射線科	Percutaneous ethanolamine oleate sclerotherapy for aggressive vertebral hemangioma: A case report	Radiol Case Rep. 2023 Jun 20;18(9):2971-2974.	Case report

57	Yuto Arai , Tohru Okanishi, Sotaro Kanai, et al.	脳神経小児科	Prediction model for long-term seizure and developmental outcomes among children with infantile epileptic spasms syndrome	Front Neurol. 2023 Jul 14;14:1195252.	Original Article
58	Yasuaki Kubouchi, Shunsuke Kojima, Wakako Fujiwara, et al.	呼吸器外科	Typical carcinoid in right middle lobe of pulmonary hypoplasia	Surg Case Rep. 2023 Jul 31;9(1):135.	Case report
59	Tomoyuki Matsunaga, Hiroaki Satio, Yu Sakano, et al.	消化器外科	Prognostic significance of the cachexia index in patients with unresectable advanced gastric cancer receiving palliative chemotherapy: a retrospective single-center study	Surg Today. 2024 Mar;54(3):231-239.	Original Article
60	Genki Inui, Katsuyuki Tomita, Masaharu Fukuki, et al.	呼吸器膠原病内科	Clinical characteristics for distinguishing between acute cardiogenic pulmonary edema and community-acquired pneumonia in elderly patients: a prospective observational study	Monaldi Arch Chest Dis. 2023 Aug 1. doi: 10.4081/monaldi.2023.2633. Online ahead of print.	Original Article
61	Hiroaki Komatsu, Fuminori Taniguchi, Tasuku Harada, et al.	女性診療科	Impact of adenomyosis on perinatal outcomes: a large cohort study (SOG database)	BMC Pregnancy Childbirth. 2023 Aug 11;23(1):579.	Original Article
62	Yuto Arai, Tohru Okanishi, Hisashi Noma, et al.	脳神経小児科	Prognostic factors for employment outcomes in patients with a history of childhood-onset drug-resistant epilepsy	Front Pediatr. 2023 Jul 28;11:1173126.	Original Article
63	Tomomi Watanabe, Satoshi Kobara, Ryoosuke Amisaki, et al.	循環器内科	Primary percutaneous coronary intervention for cardio-cerebral infarction: a case report	Front Cardiovasc Med. 2023 Jul 31;10:1165735.	Case report
64	Yusuke Kono, Tomoyuki Matsunaga, Masahiro Makinoya, et al.	消化器外科	Preoperative low skeletal muscle volume can result in insufficient administration of S-1 adjuvant chemotherapy in older patients with stage II/III gastric cancer	Surg Today. 2023 Aug 17. Online ahead of print -- R6.4出版	Original Article
65	Makoto Honda, Takahiro Shimizu, Shota Moriyasu, et al.	脳神経内科	Impaired long-term potentiation-like motor cortical plasticity in progressive supranuclear palsy	Clin Neurophysiol. 2023 Nov;155:99-106.	Original Article
66	Ai Ikebuchi, Mitsuhiro Osaki, Ikumi Wada, et al.	女性診療科	Increased chemokine ligand 26 expression and its involvement in epithelial-mesenchymal transition in the endometrium with adenomyosis	J Gynecol Obstet Hum Reprod. 2023 Nov;52(9):102645.	Original Article
67	Yuto Arai, Tohru Okanishi, Sotaro Kanai, et al.	脳神経小児科	Risk Factors of Prehospital Emergency Care for Acute Encephalopathy in Children With Febrile Status Epilepticus	Pediatr Neurol. 2023 Oct;147:95-100.	Original Article
68	Yuichiro Kishimoto, Yasushi Yoshikawa, Takeshi Onohara, et al.	心臓血管外科	Pump Exchange from a Left Ventricular Assist Device to a Jarvik 2000 with a Postauricular Cable Due to Abdominal Driveline Infection	Yonago Acta Med. 2023 Jul 31;66(3):389-393.	Case report
69	Tatsuro Yamamoto, Masako Ishida, Nao Kodama, et al.	薬剤部	Development of a New Method for Simultaneous Quantitation of Plasma Concentrations of Voriconazole and Voriconazole N-Oxide Using Column-Switching LC-MS/MS and Its Application in Therapeutic Drug Monitoring	Yonago Acta Med. 2023 Aug 9;66(3):365-374.	Original Article
70	Teruhisa Sakamoto, Mikiya Kishino, Yuki Murakami, et al.	消化器外科	Surgical Outcomes of Robot-Assisted Distal Pancreatectomy Versus Laparoscopic Distal Pancreatectomy at a Hospital in a Sparsely Populated Area	Yonago Acta Med. 2023 Aug 12;66(3):375-379.	Original Article
71	Yuko Ehara, Hiroyuki Goto, Kanae Ozaki, et al.	皮膚科	Porocarcinoma Concurrent with Psoriasis Vulgaris: The First Report	Yonago Acta Med. 2023 Jul 25;66(3):382-384.	Case report
72	Tomohiro Hosoya, Atsushi Kambe, Daio Miyamoto, et al.	脳神経外科	Papillary Glioneuronal Tumor Masquerading as Malignant Brain Tumors: A Case Report	Yonago Acta Med. 2023 Jul 22;66(3):385-388.	Case report
73	Yuki Kitsuda, Takashi Wada, Shinji Tanishima, et al.	リハビリテーション部	Impact of Sarcopenia on Spinal Spondylosis: A Literature Review	J Clin Med. 2023 Aug 19;12(16):5401.	Review
74	Yuichi Yoshida	皮膚科	Neurofibromatosis 1 (von Recklinghausen Disease)	Keio J Med. 2023 Aug 26.	Review
75	Naoki Iwata, Makoto Sakamoto, Toshio Sakou, et al.	放射線部	Utility of follow-up ultra-high-resolution CT angiography with model-based iterative reconstruction after flow diverter treatment for cerebral aneurysms	Radiol Med. 2023 Oct;128(10):1262-1270.	Original Article
76	Kento Ohta, Tohru Okanishi, Yuto Arai, et al.	脳神経小児科	Febrile seizure in children with COVID-19 during the Omicron variant-predominant era: A single-center study	Brain Dev. 2024 Jan;46(1):28-34.	Original Article
77	Yuki Suzuki, Tadashi Adachi, Kentaro Yoshida, et al.	脳神経内科	Atypical TDP-43 proteinopathy clinically presenting with progressive nonfluent aphasia: A case report	Neuropathology. 2023 Sep 17. Online ahead of print.	Case report
78	Takehiko Hanaki, Naruo Tokuyasu, Shinsaku Yata, et al.	消化器外科	Hepatectomy for massive hepatic necrosis after transcatheter arterial embolization hemostasis for hepatic hemorrhage following hepatic trauma: A case report	Clin Case Rep. 2023 Sep 18;11(9):e7888.	Case report
79	Kei Yokogawa, Keita Nagira, Toru Yonei, et al.	整形外科	Simultaneous bilateral sacrospinal femoral neck fractures in a patient with osteomalacia: A case report and literature review	Clin Case Rep. 2023 Sep 22;11(9):e7881.	Case report
80	Tomomi Watanabe, Satoshi Kobara, Ryoosuke Amisaki, et al.	循環器内科	Comparison of the crossing methods in case of rota wire introduction failure	Coron Artery Dis. 2023 Nov 1;34(7):522-524.	Others
81	Shuichi Morizane, Keita Nakane, Toshiaki Tanaka, et al.	泌尿器科	Comparison of perioperative outcomes and complications between intracorporeal, extracorporeal, and hybrid ileal conduit urinary diversion during robot-assisted radical cystectomy: a comparative propensity score-matched analysis from nationwide multi-institutional study in Japan	Int J Clin Oncol. 2024 Jan;29(1):64-71.	Original Article
82	Yuko Yamada, Hiroki Yokoyama, Ryo Kinoshita, et al.	小児科	Familial focal segmental glomerulosclerosis with Alport-like glomerular basement changes caused by paired box protein 2 gene variant	CEN Case Rep. 2023 Oct 28. Online ahead of print.	Case report
83	Shota Shimizu, Tomoyuki Matsunaga, Y U Sakano, et al.	消化器外科	Preoperative Osteopenia as Risk Factor for Death from Other Diseases After Gastrectomy in Elderly Patients	In Vivo. 2023 Nov-Dec;37(6):2662-2668.	Original Article
84	Tomoyuki Matsunaga, Hiroaki Satio, Y U Sakano, et al.	消化器外科	Skeletal Muscle Mass Before Second-Line Chemotherapy Correlates With Subsequent Prognosis and Rate of Late-Line Chemotherapy in Patients With Unresectable Gastric Cancer	Anticancer Res. 2023 Nov;43(11):5051-5059.	Original Article
85	Mayumi Sawada, Tetsuro Oishi, Michiko Nonaka, et al.	女性診療科	Malignant Pericardial Tamponade Secondary to Ovarian Clear Cell Carcinoma	Yonago Acta Med. 2023 Oct 27;66(4):459-462.	Case report
86	Tatsuya Kawaguchi, Tohru Okanishi, Tetsuya Okazaki, et al.	脳神経小児科	Mastocytosis in a Case of Noonan Syndrome Caused by a De Novo Pathogenic CBL Variant	Yonago Acta Med. 2023 Oct 19;66(4):463-466.	Case report
87	Nobuyuki Fujii, Rieko Doi, Takashi Narai, et al.	歯科口腔外科	Clinical Characteristics of the Clef Lip and/or Palate: Association with Congenital Anomalies, Syndromes, and Chromosomal Anomalies	Yonago Acta Med. 2023 Nov 28;66(4):440-447.	Original Article
88	Toshimichi Hasegawa, Shuichi Takano, Kohga Masuda, et al.	消化器外科	Retrospective Analysis of Neonatal Surgery at Tottori University over the Past Ten Years	Yonago Acta Med. 2023 Oct 8;66(4):413-421.	Original Article
89	Shinji Tanishima, Hiroshi Hagino, Hiromi Matsumoto, et al.	整形外科	Relationship among Osteoporosis, Sarcopenia, Locomotive Syndrome, and Spinal Kyphosis in Older Individuals Living in a Local Mountain Area	Asian Spine J. 2023 Dec;17(6):1074-1081.	Case report
90	Hiroaki Komatsu, Yuji Ikeda, Kei Kawana, et al.	女性診療科	Impact of COVID-19 on gynecological cancer incidence: a large cohort study in Japan	Int J Clin Oncol. 2024 Jan;29(1):72-77.	Original Article
91	Naomi Tani, Nanako Yamada, Osamu Yamamoto	皮膚科	Pigmented Macule on the Sole Probably Caused by a Stink Bug	Acta Derm Venereol. 2023 Dec 11;103:adv19641.	Case report
92	Shota Shimizu, Tomoyuki Matsunaga, Yu Sakano, et al.	消化器外科	A gastroduodenal artery that branched from the celiac artery in gastrectomy: A rare case of an anatomical variant	Asian J Endosc Surg. 2024 Jan;17(1):e13268.	Case report
93	Tomohiro Sakamoto, Taichi Matsubara, Takayuki Takahama, et al.	呼吸器膠原病内科	Biomarker Testing in Patients With Unresectable Advanced or Recurrent Non-Small Cell Lung Cancer	JAMA Netw Open. 2023 Dec 1;6(12):e2347700.	Original Article
94	Keisuke Miyamoto, Hiroaki Komatsu, Hiroki Nagata, et al.	女性診療科	Prolonged second stage of labor in delivery using epidural analgesia is a risk factor for postpartum urinary retention	J Obstet Gynaecol Res. 2024 Mar;50(3):424-429.	Original Article
95	Naomi Tani, Nanako Yamada, Yuichi Yoshida	皮膚科	Drug-induced Granulomatous Panniculitis: Polarization of M1/M2 Macrophages	Acta Derm Venereol. 2023 Dec 20;103:adv18855.	Case report
96	Atsushi Kambe, Shinichiro Kitao, Ryoa Ochiai, et al.	脳神経外科	The utility of arterial spin labeling imaging for predicting prognosis after a recurrence of high-grade glioma in patients under bevacizumab treatment	J Neurooncol. 2024 Jan;166(1):175-183.	Original Article
97	Aya Narita, Yuta Koto, Shinichi Noto, et al.	脳神経小児科	Development and evaluation of a patient-reported outcome measure specific for Gaucher disease with or without neurological symptoms in Japan	Orphanet J Rare Dis. 2024 Jan 5;19(1):11.	Original Article
98	Takehiko Hanaki, Mitsunori Abe, Amanda Tiksnadi, et al.	脳神経内科	Abnormal motor cortical plasticity as a useful neurophysiological biomarker for Alzheimer's disease pathology	Clin Neurophysiol. 2024 Feb;158:170-179.	Original Article
99	Yoshiharu Kinugasa, Toshiaki Adachi, Masaharu Fukuki, et al.	循環器内科	Factors affecting the willingness of nursing care staffs for cooperation with heart failure care and the role of internet video education	J Gen Fam Med. 2023 Nov 20;25(1):19-27.	Original Article
100	Yuto Arai, Tohru Okanishi, Yuko Nakamura, et al.	脳神経小児科	Successful perioperative preparation of a child with autism spectrum disorder in collaboration with his school for special needs education: a case report	Front Psychiatry. 2024 Jan 5;14:1162833.	Case report
101	Shintaro Senoo, Masanobu Fujimoto, Yukiko Yamaguchi, et al.	小児科	Switching to bursomab from conventional therapy in siblings with relatively well-controlled X-linked hypophosphatemia	Clin Pediatr Endocrinol. 2024;33(1):27-34.	Case report
102	Yutaka Omatsu, Yukimiko Shimizu, Tomoko Haruki, et al.	眼科	Effect of atopic conditions on development and recurrences of infectious keratitis	Allergol Int. 2024 Feb 2;S1323-8930(24)00009-1. Online ahead of print.	Original Article
103	Yuichiro Hashida, Yoichi Mino, Keisuke Okuno, et al.	小児科	Thyroid hormone may predict treatment failure in Kawasaki disease	Pediatr Int. 2024 Jan-Dec;66(1):e15723.	Original Article
104	Masayuki Okuno, Makoto Enokida, Keita Nagira, et al.	整形外科	Intra-Articular Injection of Chitin Nanofiber Attenuates Osteoarthritis: An Experimental Study in a Rat Model of Osteoarthritis	Yonago Acta Med. 2024 Jan 12;67(1):22-30.	Original Article
105	Jun Makishima, Shuichi Yamamoto, Shinsaku Yata, et al.	放射線科	Efficacy of Subtraction Computed Tomography Arteriography During Preoperative Embolization in Spinal Tumors	Yonago Acta Med. 2024 Jan 17;67(1):61-67.	Original Article
106	Takehiko Hanaki, Soichiro Horjo, Mikiya Kishino, et al.	消化器外科	An Intrahepatic Fluorodeoxyglucose (FDG)-PET/CT False-Positive Tumor Secondary to Foreign Body Granuloma Masquerading as Colon Cancer Liver Metastasis: A Case Report	Cureus. 2024 Jan 21;16(1):e52657.	Case report
107	Tomohiro Takahashi, Kengo Nishimura, Soichi Urushibara, et al.	消化器外科	A Case of Isolated Superior Mesenteric Artery Dissection Resulting in Recurrent Necrosis of the Small Intestine	Yonago Acta Med. 2024 Feb 20;67(1):68-74.	Case report
108	Aiko Takami, Masaru Kato, Yasuhiro Kotake, et al.	循環器内科	Predicting factors for omitting beta-blockers in patients with tachycardia-induced cardiomyopathy after successful catheter ablation for atrial fibrillation	Heart Vessels. 2024 Mar 6. Online ahead of print.	Original Article
109	Hiroaki Komatsu, Koji Matsumoto, Mitsunori Morita, et al.	女性診療科	A survey of carboplatin desensitization therapy in Japan: A multicenter retrospective study	Cancer Med. 2024 Mar;13(5):e6968.	Others
110	Ai Ikebuchi, Hiroaki Komatsu, Koji Yamamoto, et al.	女性診療科	Outcome of robot-assisted surgery for stage IA endometrial cancer compared to open and laparoscopic surgeries: a retrospective study at a single institution	J Robot Surg. 2024 Mar 23;18(1):133.	Original Article
111	Hiroki Koyama, Tetsuya Yumioka, Yurifumi Ohno	泌尿器科	Renal pseudoneurysm after calculus pyelonephritis	IJU Case Rep. 2024 Feb 27;7(3):234-237.	Case report

計111件

- (注) 1 当該特定機能病院に所属する医師等が前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。
- 2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講義等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の算定対象に含まれること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る)。
- 3 「発表者氏名」に関しては、英文で、筆頭著者を先頭に論文に記載された順に3名までを記載し、それ以上は、他、またはet al.とする。
- 4 「筆頭著者の所属」については、和文で、筆頭著者の特定機能病院における所属を記載すること。
- 5 「雑誌名・出版年月等」欄には、「雑誌名 出版年月(原則雑誌掲載月とし、Epub ahead of print or in pressの掲載月は認めない) 巻数: 該当ページ」の形式で記載すること(出版がオンラインのみの場合は雑誌名、出版年月(オンライン掲載日)の後に(オンライン)と明記すること)。
記載例: Lancet. 2015 Dec; 386: 2367-9 / Lancet. 2015 Dec (オンライン)
- 6 「論文種別」欄には、Original Article, Case report, Review, Letter, Othersから一つ選択すること。

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	筆頭著者の特定機能病院における所属	題名	雑誌名・出版年月等	論文種別
1	川崎 誠, 渡辺 聡, 稲村 昌伸, 他	歯科口腔外科	咬筋内に発生した神経腫の1例	日本口腔外科学会雑誌(0021-5163)69巻5号 Page271-275(2023.05)	Original Article
2	星野 貴洋, 弓岡 徹也, 山口 徳也, 他	泌尿器科	不完全切除後に右心房内進展を認めた下大静脈腫瘍塞栓を伴う腎細胞癌に対してニボルマブが有効であった1例	西日本泌尿器科(0029-0726)85巻4号 Page222-227(2023.04)	Original Article
3	工藤 明子, 小松 宏彰, 松本 芽生, 他	女性診療科	MEA後に子宮筋腫内血腫を認め、腹腔鏡下子宮全摘出術を施行した1例	現代産婦人科(1882-482X)71巻2号 Page199-203(2023.06)	Original Article
4	松本 芽生, 小松 宏彰, 中曾 崇也, 他	女性診療科	腹腔鏡下およびロボット支援下子宮全摘出術時の尿管固定と子宮動脈の処理における手術時間とlearning curveの検討	現代産婦人科(1882-482X)71巻2号 Page361-365(2023.06)	Original Article
5	一番ヶ瀬 博, 上田 敬博, 松尾 紀子, 他	救急科	救命に至った高濃度酢酸中毒の1例	日本救命医療学会雑誌(1882-0581)37巻 Page29-34(2023.2)	Original Article
6	一番ヶ瀬 博, 上田 敬博, 松尾 紀子, 他	救急科	猫咬傷によるCapnocytophaga感染敗血症性ショックの1例	日本救命医療学会雑誌(1882-0581)37巻 Page35-40(2023.2)	Original Article
7	細田 利奈, 河村 浩二, 原 健太郎, 他	血液内科	骨髄異形成症候群に対する同種造血幹細胞移植14年後に発症した致死性の侵襲性肺炎球菌感染症	臨床血液(0485-1439)64巻7号 Page614-618(2023.07)	Original Article
8	上平 遼, 仲宗根 正人, 船木 一美, 他	麻酔診療科	心停止蘇生後の遷延する意識障害の原因としてエトロンゾール脳症が疑われた1例	日本集中治療医学会雑誌(1340-7988)30巻5号 Page411-412(2023.09)	Original Article
9	池田 彩乃, 後藤 寛之, 吉田 雄一	皮膚科	陰囊の瘻孔が診断の契機となったクローン病の1例	西日本皮膚科(0386-9784)85巻4号 Page281-283(2023.08)	Original Article
10	安井 千晴, 花木 武彦, 原 和志, 他	第一外科診療科	背部刺創による腎・結腸損傷に対して大動脈遮断バルーン併用下で手術を行い救命し得た1例	米子医学雑誌(0044-0558)74巻1-3号 Page1-9(2023.05)	Original Article
11	安川 流生, 清水 龍太郎, 寺岡 祥吾, 他	泌尿器科	膀胱全摘及び右腸膀胱造設術後の尿管吻合部再発に対して膀胱全摘除術を施行した1例	西日本泌尿器科(0029-0726)85巻6号 Page415-418(2023.08)	Original Article
12	中村 陽祐, 藤原 和典	頭頸部診療科	アレルギー性鼻炎における鼻閉評価の実現	日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー感染症学会誌(2435-7952)3巻2号 Page43-50(2023.06)	Review
13	黒崎 雅道	脳神経外科	間脳下垂体腫瘍の画像診断と病理所見	CI研究(0918-7073)45巻1号 Page1-6(2023.06)	Review
14	長谷川 央, 西川 涼馬, 岩本 秀人, 他	泌尿器科	アベルマブ+アキシチニブ併用療法が奏効し原発巣切除が可能となった多臓器転移を有する右腎癌下大静脈腫瘍塞栓の1例	西日本泌尿器科(0029-0726)86巻1号 Page23-27(2023.10)	Original Article
15	長田 広樹, 原田 崇, 小作 大賢, 他	女性診療科	40歳を超える超高年初産婦は分娩時出血量が多い	現代産婦人科(1882-482X)72巻1号 Page39-44(2023.12)	Original Article
16	山本 康嗣, 東 幸弘, 中嶋 真大, 他	女性診療科	蛍光尿管カテーテルとOverlay蛍光イメージングを併用した全腹腔鏡下子宮摘出術の1例	現代産婦人科(1882-482X)72巻1号 Page73-76(2023.12)	Original Article
17	仕名野 野太郎, 塚本 和充, 矢田 晋作, 他	放射線診療科	外傷に伴う非産血性持続勃起症に対して選択的動脈塞栓術を施行した1例	臨床放射線(0009-9252)68巻10号 Page993-998(2023.10)	Original Article
18	山家 健作, 赤堀 圭一, 尾崎 まり, 他	整形外科	当科におけるAYA世代骨軟部腫瘍患者の妊娠性温存の実態と課題	中部日本整形外科災害外科学会雑誌(0008-9443)66巻4号 Page533-534(2023.07)	Original Article
19	中河 直輝, 柳樂 慶太, 武田 知加子, 他	整形外科	関節リウマチの患者背景と転倒リスク因子の変遷	中部日本整形外科災害外科学会雑誌(0008-9443)66巻4号 Page575-576(2023.07)	Original Article
20	仲田 夢人, 遠見 静子, 市川 ひとみ, 他	検査部	CRP測定試薬「N-アッセイ(CRP-ユニットボー)」の基礎的検討	医学検査と自動化(2435-7391)48巻3号 Page214-220(2023.06)	Original Article
21	三原 悠, 長谷川 央, 安川 流生, 他	泌尿器科	エブリンが有効であった悪性末梢神経腫瘍の1例	西日本泌尿器科(0029-0726)86巻2号 Page85-89(2023.12)	Original Article
22	武田 知加子, 谷島 伸二, 三原 徳高, 他	整形外科	高齢者の頸椎性脊髄症に対する椎弓形成術のOACMEQを用いた治療成績	日本脊椎障害医学会雑誌(1348-3242)36巻1号 Page172-175(2023.06)	Original Article
23	中村 廣繁, 春木 朋広, 窪内 康晃, 他	胸部外科診療科	ロボット支援下肺癌手術の現状と将来展望	肺癌(0386-9628)63巻7号 Page929-938(2023.12)	Review
24	高須 勇太, 森谷 浩治, 石坂 佳祐, 他	整形外科	包み込み皮膚弁と足趾移植で再建した広範囲手部デグロビング損傷の1例	日本マイクロサージャリー学会誌(0916-4936)36巻2号 Page64-68(2023.06)	Original Article
25	青木 亜紀, 遠藤 涼, 湊 弘之, 他	手術部	悪性栄養障害型先天性表皮水疱症患者の処置時の痛みにかテーテル留置による硬膜外ブロックが有用であった1例	日本ペインクリニック学会誌(1340-4903)30巻12号 Page271-274(2023.12)	Original Article
26	足立 正, 花島 律子	脳神経内科	進行パーキンソン病における神経病理学的変化【Advanced Parkinson's Disease】Neuropathological changes in advanced Parkinson's disease(英語)	Neurology and Clinical Neuroscience(2049-4173)11巻4号 Page189-193(2023.07)	Review
27	村上 文伸, 花島 律子	脳神経内科	進行パーキンソン病における認知機能障害【Advanced Parkinson's Disease】Cognitive impairment in advanced Parkinson's disease(英語)	Neurology and Clinical Neuroscience(2049-4173)11巻4号 Page194-200(2023.07)	Review
28	清水 崇宏, 花島 律子	脳神経内科	進行パーキンソン病における生理学的変化:運動皮質の可塑性の変化および病態生理および臨床症状におけるその意義【Advanced Parkinson's Disease】Physiological Changes in advanced Parkinson's disease: Altered motor cortical plasticity and its significance in pathophysiology and clinical symptoms(英語)	Neurology and Clinical Neuroscience(2049-4173)11巻4号 Page218-225(2023.07)	Review
29	奥野 優, 柳樂 慶太	整形外科	下垂足に対する後脛骨筋腱移行術後にcheckrein deformityを生じた2例	日本足の外科学会雑誌(0916-7927)44巻1号 Page221-224(2023.08)	Original Article
30	河村 浩二	血液内科	多発性骨髄腫患者に対する同種造血幹細胞移植を行った後の維持療法(Prophylactic or pre-emptive therapies to prevent relapse after allogeneic stem cell transplantation. Maintenance therapy after allogeneic hematopoietic stem cell transplantation for patients with multiple myeloma)(英語)	International Journal of Hematology(0925-5710)118巻2号 Page193-200(2023.08)	Review
31	前垣 義弘, 中村 裕子, 古瀬 弘訓	脳神経小児科	鳥取県における不登校児童・生徒の不登校に関連する要因とその対応、経過に関する研究	疾病構造の地域特性対策専門委員会報告37巻 Page1-6(2023.05)	Original Article
32	永原 天和	第二内科診療科	鳥取大学医学部附属病院消化器内科における初発HCCの実態とその治療について	疾病構造の地域特性対策専門委員会報告37巻 Page14-18(2023.05)	Original Article
33	中村 廣繁, 門永 太一, 細谷 恵子, 他	胸部外科診療科	鳥取県における若年者(AYA世代)乳癌の特徴	疾病構造の地域特性対策専門委員会報告37巻 Page25-29(2023.05)	Original Article
34	磯本 一, 河口 剛一郎	第二内科診療科	根治的内視鏡治療が可能であった早期食道癌症例の死因に関するコホート研究	疾病構造の地域特性対策専門委員会報告37巻 Page37-45(2023.05)	Original Article
35	横川 敬, 林 育太, 永島 英樹	整形外科	高校野球選手に生じた上腕骨遠位骨幹部疲労骨折の3例	日本肘関節学会雑誌(1349-7324)30巻2号 Page218-221(2023.2)	Original Article
36	長田 広樹, 原田 崇, 小作 大賢, 他	女性診療科	40歳を超える超高年初産婦は分娩時出血量が多い	現代産婦人科(1882-482X)72巻1号 Page39-44(2023.12)	Original Article
37	山本 康嗣, 東 幸弘, 中嶋 真大, 他	女性診療科	蛍光尿管カテーテルとOverlay蛍光イメージングを併用した全腹腔鏡下子宮摘出術の1例	現代産婦人科(1882-482X)72巻1号 Page73-76(2023.12)	Original Article
38	仕名野 野太郎, 塚本 和充, 矢田 晋作, 他	放射線科	外傷に伴う非産血性持続勃起症に対して選択的動脈塞栓術を施行した1例	臨床放射線(0009-9252)68巻10号 Page993-998(2023.10)	Original Article
39	小川 騰弘, 秦 英司, 太田 友樹, 他	薬剤部	薬剤師による院内処方継続理由への個別対応が医薬分業推進と薬物療法適正化に与える影響	日本病院薬剤師会雑誌(1341-8815)60巻2号 Page145-150(2024.02)	Original Article
40	三原 悠, 長谷川 央, 安川 流生, 他	泌尿器科	エブリンが有効であった悪性末梢神経腫瘍の1例	西日本泌尿器科(0029-0726)86巻2号 Page85-89(2023.12)	Original Article
41	中村 廣繁, 春木 朋広, 窪内 康晃, 他	胸部外科診療科	ロボット支援下肺癌手術の現状と将来展望	肺癌(0386-9628)63巻7号 Page929-938(2023.12)	Review
42	青木 亜紀, 遠藤 涼, 湊 弘之, 他	手術部	悪性栄養障害型先天性表皮水疱症患者の処置時の痛みにかテーテル留置による硬膜外ブロックが有用であった1例	日本ペインクリニック学会誌(1340-4903)30巻12号 Page271-274(2023.12)	Original Article
43	高森 稔弘, 足立 良行, 河村 浩二, 他	検査部	深部静脈血栓症における血栓残存のリスク因子の検討	医学検査(0915-8669)73巻1号 Page9-17(2024.01)	Original Article
44	前垣 義弘, 中村 裕子, 古瀬 弘訓	脳神経小児科	鳥取県における不登校児童・生徒の不登校に関連する要因とその対応、経過に関する研究	疾病構造の地域特性対策専門委員会報告37巻 Page1-6(2023.05)	Original Article
45	中村 廣繁, 門永 太一, 細谷 恵子, 他	胸部外科診療科	鳥取県における若年者(AYA世代)乳癌の特徴	疾病構造の地域特性対策専門委員会報告37巻 Page25-29(2023.05)	Original Article
46	磯本 一, 河口 剛一郎	第二内科診療科	根治的内視鏡治療が可能であった早期食道癌症例の死因に関するコホート研究	疾病構造の地域特性対策専門委員会報告37巻 Page37-45(2023.05)	Original Article

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを記入すること。

2 記載方法は、前項の「高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文」の記載方法に準じること。

(様式第 3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
・ 手順書の主な内容 1. 目的と適応範囲 1.1. 目的 1.2. 適応範囲 2. 委員会の構成 2.1. 委員 2.2. 委員会事務局 2.3. 教育・研修 2.4. 守秘義務 2.5. 利益相反の管理 3. 審査・報告事項 4. コンサルテーション 5. 審査・報告申請 5.1. 審査・報告資料の提出 5.2. 提出資料 6. 倫理審査 6.1. 一般審査 6.2. 迅速審査 7. 審査結果の通知 8. 審査結果通知後の対応 9. 調査 10. 他の研究機関からの審査依頼 11. 情報公開 12. 記録の保管	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年 3 8 回

- (注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。
2 前年度の実績を記載すること。

(2)利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会 の設置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
<p>・ 規定の主な内容</p> <p>(目的)</p> <p>鳥取大学医学部附属病院における臨床研究の実施者及びその関係者の利益相反(以下「利益相反」という。)が深刻な事態へと発展することを未然に防止するため、臨床研究に係る利益相反の適切な管理(以下「利益相反マネジメント」という。)に関し必要な事項を定め、もって臨床研究の適正な推進を図ることを目的とする。</p> <p>(利益相反マネジメントの対象及び基準)</p> <p>利益相反マネジメントの対象者は、次に掲げる者</p> <p>一 臨床研究実施者等</p> <p>二 臨床研究実施者等の配偶者及び臨床研究実施者等と生計を一にする当該臨床研究実施者等の親族</p> <p>三 その他審査委員会が必要と判断した者</p> <p>開示対象とする事項</p> <p>一 経済的利益</p> <p>二 経営関与</p> <p>利益相反マネジメントは、臨床研究を実施するに当たり、被験者及び社会に対し、教育者・研究者又は医療関係者としての公正性に客観的な疑念を生じさせるか否かを判断基準として行うものとする。</p> <p>(臨床研究実施者等の責務)</p> <p>利益相反の発生が懸念される場合は、この規程に定めるところにより所定の手続きを経るほか、透明性、公正性の確保に自ら努める。</p>	

③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年12回
---------------------------------------	------

(注) 前年度の実績を記載すること。

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年6回
<p>・研修の主な内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 臨床研究における倫理的原則と令和5年度生命・医学系研究倫理指針改正の概要 2. 臨床研究データマネジメント概論 3. 医薬品開発～基礎研究から臨床研究への橋渡し～（研究推進機構との共催） 4. 研究倫理（研究対象者の公平な選択） 5. 統計解析手法（多変量解析） 6. 臨床研究デザインと計画書作成のポイント 	

(注) 前年度の実績を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

各診療科の研修統括者のもと指導医による専門研修の指導を行っており、新専門研修制度においては、本院を基幹施設として県内外の関連病院を連携施設とした専門研修プログラムを策定し、各領域において高度な医療に関する研修の指導体制を構築している。また、各領域の研修プログラムにおいては、専門医資格の取得をはじめ、大学院重点コースや地域医療に配慮したコースを設定し、高度な医療に関する専門知識・技術、資質を習得し、社会に貢献できる医師の育成を行っている。

(注) 上記の研修内容は医師法及び歯科医師法の規定による臨床研修を終了した医師及び歯科医師に対する専門的な研修について記載すること。

2 研修の実績

上記研修を受けた医師数	73	人
-------------	----	---

(注) 前年度の研修を受けた医師の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
山本 一博	循環器内科/ 内分泌代謝内科	主任診療科長	38年	内科含む
磯本 一	消化器内科/ 腎臓内科	主任診療科長	34年	内科含む
山崎 章	呼吸器内科/ 膠原病内科/ アレルギー科	主任診療科長	31年	内科含む
岩田 正明	精神科	診療科長	24年	
難波 範行	小児科	診療科長	33年	
藤原 義之	消化器外科/ 小児外科	主任診療科長	37年	
吉川 泰司	心臓血管外科	診療科長	28年	
春木 朋広	呼吸器外科	診療科長	20年	
若原 誠	乳腺内分泌外科	診療科長	16年	
永島 英樹	整形外科/ リウマチ科	診療科長	36年	
吉田 雄一	皮膚科	診療科長	30年	
武中 篤	泌尿器科	診療科長	38年	
宮崎 大	眼科	診療科長	35年	
藤原 和典	耳鼻咽喉科/ 頭頸部外科	主任診療科長	23年	
藤井 進也	放射線科	診療科長	26年	
吉田 賢史	放射線治療科	診療科長	26年	
谷口 文紀	産婦人科	診療科長	31年	
大槻 明広	麻酔科	診療科長	25年	
小谷 勇	歯科口腔外科	診療科長	30年	
今村 武史	薬物療法内科	診療科長	37年	
八木 俊路朗	形成外科	診療科長	23年	
上田 敬博	救急科	診療科長	26年	
河村 浩二	血液内科	診療科長	17年	内科含む

花 島 律 子	脳神経内科	診療科長	34年	内科含む
黒 崎 雅 道	脳神経外科	診療科長	34年	
前 垣 義 弘	脳神経小児科	診療科長	36年	
栗 野 宏 之	遺伝子診療科	診療科長	21年	
梅 北 善 久	病理診断科	診療科長	37年	
千 酌 浩 樹	感染症内科	診療科長	36年	内科含む

(注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

(注) 2 内科について、サブスペシャルティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャルティ領域について研修統括者を記載すること。

(注) 3 外科について、サブスペシャルティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャルティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）

1. BLS研修

- ・研修の主な内容 一次救命処置の知識の習得
- ・研修の期間・実施回数 令和5年10月～令和6年3月・14回
- ・研修の参加人数 1167人

2. 緩和ケア研修会

- ・研修の主な内容 がん診療に携わる全ての医療従事者の緩和ケアの基本的知識の習得
- ・研修の期間・実施回数 令和6年2月17日・1回
- ・研修の参加人数 20人

3. がんセミナー

- ・研修の主な内容 がん診療について、幅広い知識の習得
- ・研修の期間・実施回数 令和5年5月～令和6年3月・5回
- ・研修の参加人数 212人

4. 接遇研修

- ・研修の主な内容 よりよい看護サービスを提供するための接遇を学ぶ
- ・研修の期間・実施回数 令和5年4月3日・1回
- ・研修の参加人数 63人

5. ポジティブマネジメント～強みを引き出し、その人らしさを支える～

- ・研修の主な内容 組織の一体化に向け、ポジティブマネジメントについて理解を深める
- ・研修の期間・実施回数 令和6年2月16日・1回
- ・研修の参加人数 34人

6. 倫理研修（基礎）

- ・研修の主な内容 臨床における倫理的課題から看護師としての基本的な考え方を確認する
- ・研修の期間・実施回数 令和5年4月4日・1回
- ・研修の参加人数 63人

7. 災害看護研修

- ・研修の主な内容 災害時における看護を理解する
- ・研修の期間・実施回数 令和5年11月7日・令和5年11月14日・2回
- ・研修の参加人数 64人

② 業務の管理に関する研修の実施状況（任意）

○ハラスメント防止研修会

- ・研修の主な内容 ハラスメントに関する基本的な知識を修得するとともに、大学等におけるハラスメント問題の現状を知り、各部局等でハラスメントの防止に取り組むことを目的とする
- ・研修の期間・実施回数 令和5年10月～令和5年12月（e-learningにより実施）
- ・研修の参加人数 546人

○ハラスメント相談員研修会

- ・研修の主な内容 ハラスメント相談員が相談員の任務、役割の重要性を理解するとともに、ハラスメント相談を受ける際に必要な知識、スキル等を習得し、相談への対応能力を向上させることを目的とする
- ・研修の期間・実施回数 令和5年10月～令和5年12月（e-learningにより実施）
- ・研修の参加人数 4人

○メンタルヘルス研修（セルフケア、ラインケア）

- ・研修の主な内容 本学教職員を対象に、ストレスに関する基礎知識を学ぶとともに、ストレス対処法を知ることにより、日々のセルフケアの習慣を身につけさせる機会を設けること、それにより教職員の心の健康促進を図ることを目的とする
- ・研修の期間・実施回数 令和5年6月～令和6年3月
- ・研修の参加人数 56人

○労務管理研修会

- ・研修の主な内容 管理的立場にある者及び勤務時間管理員に対し、最近の労務管理をめぐる動向に関する説明を行うとともに、長時間労働による健康障

害の防止（安全配慮義務）、勤務時間管理、ワークライフバランス等について意識啓発を行う

- ・研修の期間・実施回数 令和5年6月～令和5年8月（e-learningにより実施）
- ・研修の参加人数 34人

○個人情報保護研修会（一般向け）

- ・研修の主な内容 個人情報とは、本学の個人情報保護、個人情報の取扱い、個人情報の漏えい
- ・研修の期間・実施回数 令和5年8月1日～令和6年3月29日（オンデマンド開催）
- ・研修の参加者 588人

○個人情報保護研修会（保護管理者・保護担当者向け）

- ・研修の主な内容 個人情報保護法上の安全管理措置について
- ・研修の期間・実施回数 令和5年12月8日～令和6年3月29日（オンデマンド開催）
- ・研修の参加者 18人

○個人情報保護及び情報セキュリティ研修会の開催について

- ・研修の主な内容 個人情報とは？、院内での個人情報漏えい防止策、個人情報取り扱いのためのQ&A
- ・研修の期間・実施回数 令和6年2月1日～3月29日（オンデマンド開催）
- ・研修の参加者 2,044人

③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況

- ・研修の主な内容
- ・研修の期間・実施回数
- ・研修の参加人数

(注) 1 高度の医療に関する研修について、前年度実績を記載すること。

(注) 2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

(様式第 5)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画	2. 現状
管理責任者氏名	病院長 武中 篤	
管理担当者氏名	総務課長 吉田雅人 経営企画課長 市川貢資 医事課長 末廣徹 医療支援課長 清水誠	

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録	項 規則第二十二條の三第二項に掲げる事	病院日誌	総務課
		各科診療日誌	各診療科に係る病棟
		処方せん	医療情報部
		手術記録	医療情報部
		看護記録	医療情報部
		検査所見記録	医療情報部
		エックス線写真	医療情報部
		紹介状 退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書	医療情報部
			病院日誌は、紙ベースにて日付順に保管。 外来カルテ、入院カルテは電子カルテにて中央管理。 紙媒体によるものはスキャンにて電子保存。 電子化されているものは電子カルテ管理。 エックス線写真は電子カルテにて中央管理（一部フィルムにて各診療科保管）。 なお、診療録を病院外に持ち出すことは禁止している。
病院の管理及び運営に関する諸記録	掲げる事項 規則第二十二條の三第三項に掲	従業者数を明らかにする帳簿	総務課
		高度の医療の提供の実績	医事課
		高度の医療技術の開発及び評価の実績	経営企画課
		高度の医療の研修の実績	総務課
		閲覧実績	総務課
		紹介患者に対する医療提供の実績	医事課
	掲げる事項 規則第一條の十一第一項に	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課 薬剤部
		医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全管理部
		医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全管理部
		医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全管理部
		医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全管理部
			電子カルテにて中央管理 高度の医療技術の開発及び評価の実績は、年度毎に紙媒体で管理している。 年度毎に紙媒体で管理
			電子カルテにて中央管理

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第二項第一号から第三号までに掲げる事項	院内感染対策のための指針の策定状況	感染制御部
		院内感染対策のための委員会の開催状況	感染制御部
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染制御部
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染制御部
		医薬品安全管理責任者の配置状況	総務課
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	医療安全管理部 薬剤部
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	医療安全管理部 薬剤部
		医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医療安全管理部 薬剤部
		医療機器安全管理責任者の配置状況	総務課
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	医療安全管理部 MEセンター
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	医療安全管理部 MEセンター
		医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医療安全管理部 MEセンター

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第九条の二十の二第一項第一号から第十三号まで及び第十五条の四各号に掲げる事項	医療安全管理責任者の配置状況	医療安全管理部
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	医療安全管理部
		医薬品安全管理責任者の業務実施状況	医療安全管理部 薬剤部
		医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	医療安全管理部
		診療録等の管理に関する責任者の選任状況	医事課
		医療安全管理部門の設置状況	医療安全管理部
		高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	医療安全管理部
		未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	医療安全管理部
		監査委員会の設置状況	医療安全管理部
		入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況	医療安全管理部
		他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況	医療安全管理部
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	
		医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況	医療安全管理部
		職員研修の実施状況	医療安全管理部
		管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況	医療安全管理部 薬剤部 MEセンター
		管理者が有する権限に関する状況	
管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況			
開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の整備状況			

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画 2. 現状
閲覧責任者氏名	病院長 武中 篤
閲覧担当者氏名	総務課長 吉田雅人、経営企画課長 市川貢資 医事課長 末廣 徹、医療支援課長 清水 誠
閲覧の求めに応じる場所	医療相談室
閲覧の手続の概要	
①公開は、請求者が「開示請求書」を情報公開窓口の総務企画部総務課広報企画係に提出する。 ②大学は開示・不開示の決定を行い、「決定通知書」により請求者へ通知する。 ③請求者は、開示の実施方法・希望日を「開示の実施方法の申出書」により窓口へ申し出、開示実施手数料を支払う。 ④開示(閲覧)を実施する。	

(注)既に医療法施行規則第9条の20第5号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0	件
閲覧者別	医師	延	0 件
	歯科医師	延	0 件
	国	延	0 件
	地方公共団体	延	0 件

(注)特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

規則第1条の11第1項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 指針の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> (1) 安全管理に関する基本的考え方 (2) 安全管理のための組織に関する基本的事項 (3) 医療安全管理のための医療従事者に対する研修に関する基本方針 (4) 医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策に関する基本方針 (5) 医療事故等発生時の対応に関する基本方針 (6) 本院における医療従事者と患者及び家族等との間の情報の共有に関する基本方針 (7) 患者及び家族等からの相談への対応に関する基本方針 (8) その他医療安全の推進のために必要な基本方針 	
② 医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 設置の有無 (有・無) ・ 開催状況：年 12 回 ・ 活動の主な内容： <p>医療に係る安全管理体制の確保及び推進を図り、医療事故等及び医療行為に基づく医事紛争に対する防止策等について審議する。</p> <p>(審議事項)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 医療に係る安全管理のための指針の策定・整備に関すること ・ 医療に係る安全管理のための教育・研修の企画・立案に関すること ・ 医療に係る安全確保を目的とした改善のための方策に関すること ・ 医療事故等及び医事紛争を防止するために必要な啓発及び対策に関すること ・ 医療事故等発生時の対応、事実確認並びに医療安全の確保及び医療事故等の再発防止に関し病院長から命を受けたこと ・ その他医療に係る安全管理体制の確保及び推進に関すること 	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 94 回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の内容 (すべて)： ・ 医療安全必須研修会 (2回) ・ 医療安全研修会 (9回) ・ 委託業務従事者研修会 (1回) ・ 医療機器研修会 (14回) ・ BLS研修会 (17回) ・ 薬剤間連研修会 (2回) ・ 病院情報システム研修会 (20回) ・ 新採用者研修 (安全) (21回) ・ 院内認定看護師育成研修 (4回) ・ 転倒・転落予防コース研修 (1回) 	

- ・研修医研修（1回）
- ・看護補助者研修（1回）
- ・復職者研修（1回）

④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の実施状況

- ・ 医療機関内における事故報告等の整備（有・無）
- ・ その他の改善のための方策の主な内容：

（報告の分析）

1. 医療安全管理責任者の指示のもと、医療安全管理者が、インシデント報告書を基に①内容 ②原因と要因 ③改善策 ④患者影響レベル ⑤患者及び家族への対応と反応等について現場で確認を行っている。
2. 1を基に問題点を抽出し、現場や院内全体での改善策を講じている。

（検討方法）

1. 医療安全管理責任者を中心に、医療安全管理者、リスクマネジメント専門委員会委員が、インシデント報告についてカンファレンスを実施し、再発防止対策を検討する。
2. 医療安全管理者は毎月の事例を分析し報告書を作成、リスクマネジメント専門委員会・医療事故防止等対策委員会・病院運営会議・統括医長連絡会リスクマネジメント担当者連絡会・看護師長会議等で報告し検討している。
3. 事例によっては、医療安全向上委員会・拡大医療安全向上委員会等で審査を行う。

（注）前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第1号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 院内感染対策に関する基本的考え方 2. 感染管理組織に関する基本的事項 3. 院内感染対策のための職員研修に関する基本方針 4. 感染症の発生状況の報告に関する基本方針 5. 院内感染発生時の対応に関する基本方針 6. 患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針 7. 院内感染対策推進のために必要な基本方針 8. 職業感染防止のための基本方針 9. 抗菌薬適正使用に関する基本方針 	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 12 回
<p>・ 活動の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 感染予防の対策に関すること 2. 感染予防対策実施の監視及び指導に関すること 3. 感染予防に係る情報の収集に関すること 4. 感染の発生原因及び感染経路の調査に関すること 5. その他感染予防に関すること 	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 2 回
<p>・ 研修の内容（すべて）：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 新型コロナウイルス感染対策～5類感染症移行後の対応まとめ～ 2. カテーテル関連血流感染対策 	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・ 病院における発生状況の報告等の整備 (有・無)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 感染症診療カンファレンスによる抗菌薬耐性菌検出患者・血液培養陽性患者・MRS A 感染症治療薬および広域抗菌薬投与患者などの診断・治療・感染対策の検討 ・ 病棟ラウンドによる感染対策実施状況確認と現場指導 ・ サーベイランスによる感染症情報の把握とアウトブレイクへの対応 ・ 感染制御部メンバーによる定期ミーティング 	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第2号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品安全管理責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 15 回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容： ・ 医療安全研修会「【管理】に注意を要する医薬品について」（1回） ・ インスリン療法・血糖測定研修会（1回） ・ 血糖測定リスクマネジメント研修会（1回） ・ 新採用・中途採用職員オリエンテーション（12回） 	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 手順書の作成（有・無） ・ 手順書の内訳に基づく業務の主な内容： ・ 医薬品の採用・購入に関する事項 ・ 医薬品の管理に関する事項（麻薬等の管理方法等） ・ 患者の持参薬歴情報等の収集方法、処方せんの記載方法 ・ 患者に対する与薬や服薬指導に関する事項 ・ 医薬品の安全使用に係る情報の取り扱いに関する事項 ・ 他施設（病院等、薬局等）との連携に関する事項 	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医薬品に係る情報の収集の整備（有・無） ・ 未承認等の医薬品の具体的な使用事例（あれば）： ・ その他の改善のための方策の主な内容： <p>（情報収集の方法 ※未承認等の医薬品の情報その他の情報の収集）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 医療安全管理部および医薬安全に係る委員会と連携し、院内で発生するインシデント等の情報収集 ・ 病院で発生する副作用・感染症情報の把握 ・ 厚生労働省、医薬品医療機器総合機構、製薬企業からの情報提供（口頭、インターネット、書面等） <p>（情報の周知方法）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 緊急性、重要性、対象により、以下の方法等による周知を図る ・ 新採用者または全職員を対象に開催する研修会 ・ 書面や医療情報システム掲示板・院内メールを利用した情報提供 ・ 医師等の個人に直接情報提供 ・ 病棟担当薬剤師による医師薬剤師への説明会 	

（注）前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第3号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器安全管理責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 14 回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容： ・ 輸液ポンプ・シリンジポンプ研修会（8回） ・ 人工呼吸器研修会（1回） ・ 人工呼吸非侵襲的陽圧換気療法（NPPV）（1回） ・ PICC管理（2回） ・ 中心静脈挿入のための安全管理（2回） 	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機器に係る計画の策定 （ 有・無 ） ・ 機器ごとの保守点検の主な内容： ・ MEセンターで直接管理している医療機器については、点検の対象機器及び方法を定めセンターでの定期点検、現場定期点検、使用前点検、使用中点検、使用后点検に区別して点検記録簿を作成し管理保管している。 ・ 現場管理が主体となる放射線装置については、部署の担当責任者が管理し、MEセンターはそれらの医療機器の定期点検表、修理点検表等の写しを提出してもらい、一括管理保管する。 ・ 保守・修理・点検にあたっては、計画の作成に参画し、業者との窓口としての業務を行っている。院内で定期点検する場合は、メーカーの技術講習会を受けたMEが実施、点検項目や頻度はメーカー推奨を参考に作成している。 ・ 精度、機能、安全機構、ソフトのバージョン等メーカー技術講習に準じて実施。オーバーホールも含む。 	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機器に係る情報の収集の整備 （ 有・無 ） ・ 未承認等の医療機器の具体的な使用事例（あれば）： ・ 医療機器の添付文書、取扱説明書の安全使用・保守点検に関する文書整理し管理する。また、院内で発生する医療機器に関する不都合情報はMEセンターに報告してもらい、製造販売会社から適切な対処方法に関して情報提供を求めている。 ・ その他の改善のための方策の主な内容： ・ 医療安全管理部、リスクマネジメント専門委員会と協議協力して、院内に周知する。 ・ 医療機器の不都合情報・安全情報等は、当該医療機器に直接携わる関係者には口頭、文書で通知し、院内には「MEセンター瓦版」、「リスクマネジメント便り」、あるいは医療情報システムを利用して情報提供を行う。さらに、研修会実施時に情報提供を行い、周知を図っている。 	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第9条の20の2第1項第1号から第13号の二に掲げる事項の実施状況

① 医療安全管理責任者の配置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
<p>・責任者の資格（<input checked="" type="checkbox"/>医師・歯科医師）</p> <p>・医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括状況</p> <p>副病院長（医療安全）を配置している。</p> <p>（職務内容） 医療安全管理部、医療事故防止等対策委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者、インフォームド・コンセント説明等責任者の統括をしている。</p>	
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有（2名）・無
<p>③ 医薬品安全管理責任者の業務実施状況</p> <p>・医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況 医療安全管理部や医療安全に係る委員会等と連携の下、次の業務を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 医薬品の安全のための業務に関する手順書の作成並びに改定 2. 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施 3. 医薬品の業務手順書に基づく業務の実施 4. 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全確保を目的とした改善のための方策の実施 <p>・未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況 未承認医薬品の使用状況は医薬品情報管理室にて一元管理を行い、定期的に（月一回程度）その結果を報告させ、必要な介入の指示を行い、実施させる。</p> <p>・担当者の指名の有無（<input checked="" type="checkbox"/>有・無）</p> <p>・担当者の所属・職種：</p> <p>（所属：薬剤部，職種 薬剤師）（所属： ， 職種 ）</p> <p>（所属： ， 職種 ）（所属： ， 職種 ）</p> <p>（所属： ， 職種 ）（所属： ， 職種 ）</p> <p>（所属： ， 職種 ）（所属： ， 職種 ）</p>	
④ 医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
<p>・医療の担い手が説明を行う際と同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する規程の作成の有無（<input checked="" type="checkbox"/>有・無）</p> <p>・説明等の実施に必要な方法に関する規程に定められた事項の遵守状況の確認、及び指導の主な内容：</p> <p>・説明等の実施に必要な方法に関して、インフォームド・コンセントマニュアル等に定められた事項の遵守状況を定期的に確認している。</p> <p>・説明方法、内容、文書管理等についての検討事項は、適宜インフォームド・コンセント専門委員会でルール化している。</p> <p>・不適切な事例が認められる場合は、当該部署へ指導を行うとともに、必要に応じて院内文書（イ</p>	

ンフォームド・コンセント便り等)により病院全体へ周知している。	
⑤ 診療録等の管理に関する責任者の選任状況	有・無
<p>・診療録等の記載内容の確認、及び指導の主な内容：</p> <p>診療録管理委員会内に診療録監査専門部会を設置し、診療録等の記載内容、退院サマリーの作成状況、カウンターサインの実施状況等を毎月確認している。内容の記載不備、未作成又は未実施など不備がある場合は、担当医師に直接指導を行っている。</p>	
⑥ 医療安全管理部門の設置状況	有・無
<p>・所属職員：専従（4）名、専任（1）名、兼任（10）名 うち医師：専従（1）名、専任（0）名、兼任（6）名 うち薬剤師：専従（1）名、専任（0）名、兼任（1）名 うち看護師：専従（2）名、専任（0）名、兼任（2）名 （注）報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること</p> <p>・活動の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療安全に関わる委員会の運営並びにその記録、資料等の作成及び保存に関すること ・医療安全に係る教育・研修の企画・立案・運営・学習効果測定の実施に関すること ・医療事故及びこれに準じて取り扱うことが必要な事象（以下「医療事故等」という。）が発生した場合における診療録や看護記録等への記載が、正確かつ十分になされていることの確認及び必要な指導に関すること ・医療事故等が発生した場合における患者又はその家族への説明などの対応状況についての確認及び指導に関すること ・医療事故等の発生原因の究明等対応状況が適切に実施されていることの確認及び当該確認結果に基づく医療従事者への必要な指導に関すること ・各部門における医療安全対策の実施状況の評価に基づく医療安全確保のための業務改善計画書の作成並びにそれに基づく医療安全対策の実施状況及び評価結果の記録に関すること ・医療安全に資する診療内容及び医療従事者の医療安全の認識についてのモニタリングに関すること（診療録管理委員会にて監査を実施） ・死亡例及び合併症の報告等に関すること ・医療安全に係る内部通報に関すること ・医薬品及び医療機器の安全管理に係る助言指導に関すること ・インフォームド・コンセント及び診療録の管理の適切な実施に係る助言指導に関すること ・医療安全に係る外部監査に関すること ・医療安全に関わる委員会とその連携状況、院内研修の実績、患者等の相談件数及び相談内容、相談後の取扱い、その他ゼネラルリスクマネージャーの活動実績の記録に関すること ・医療安全対策に係る取組の評価等を行うカンファレンスの実施に関すること ・特定機能病院間相互のピアレビューの実施に関すること ・医療安全管理に係る連絡調整に関すること ・高難度新規医療技術等を用いた医療の提供に関すること ・未承認新規医薬品・医療機器の使用に関すること ・その他本院における医療安全の確保のための対策の推進に関すること <p>※ 平成二八年改正省令附則第四条第一項及び第二項の規定の適用を受ける場合には、専任の医療に係る安全管理を行う者が基準を満たしていることについて説明すること。 ※ 医療安全管理委員会において定める医療安全に資する診療内容及び従事者の医療安全の認識についての平時からのモニタリングの具体例についても記載すること。</p>	
⑦ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	

- ・前年度の高難度新規医療技術を用いた医療の申請件数（ 6 件）、及び許可件数（ 5 件）
- ・高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置の有無（ 有 ・ 無 ）
- ・高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（ 有 ・ 無 ）
- ・活動の主な内容：
 - ・高難度新規医療技術等に該当するか否かの判断に関する事
 - ・高難度新規医療技術等を用いた医療の提供申請の適否等の決定及び結果通知に関する事
 - ・関係する委員会等との調整に関する事
 - ・提供を認めた高難度新規医療技術等の周知及び関係者への指導に関する事
 - ・病院長が定めた手順書の遵守状況の確認に関する事
 - ・患者申出療養の実施の可否に関する事
- ・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（ 有 ・ 無 ）
- ・高難度新規医療技術評価委員会の設置の有無（ 有 ・ 無 ）

⑧ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況

- ・前年度の未承認新規医薬品等を用いた医療の申請件数（ 35 件）、及び許可件数（ 28 件）
- ・未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の設置の有無（ 有 ・ 無 ）
- ・未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び未承認新規医薬品等の使用条件を定め使用の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（ 有 ・ 無 ）
- ・活動の主な内容：
 - ・未承認新規医薬品・医療機器に該当するか否かの判断に関する事
 - ・未承認新規医薬品・医療機器の使用申請の適否等の決定及び結果通知に関する事
 - ・関係する委員会等との調整に関する事
 - ・使用を認めた未承認新規医薬品・医療機器の周知及び関係者の指導に関する事
 - ・病院長が定めた手順書の遵守状況の確認に関する事
 - ・患者申出療養の実施の可否に関する事
 - ・その他必要と認められる業務
- ・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（ 有 ・ 無 ）
- ・未承認新規医薬品等評価委員会の設置の有無（ 有 ・ 無 ）

⑨ 入院患者が死亡した場合などの医療安全管理部門への報告状況

- ・入院患者が死亡した場合の医療安全管理部門への報告状況：年 362 件
 - ・上記に掲げる場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したとき当該事象の発生の事実及び発生前の状況に関する医療安全管理部門への報告状況：年 180 件
 - ・上記に関する医療安全管理委員会の活動の主な内容
- 医療安全管理部が、入院患者の死亡事例を確認し、その中で異状死、問題のある症例、診療科から報告のあった死亡事例については、さらに詳しく検証を行っている。

⑩ 他の特定機能病院等の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況

- ・他の特定機能病院等への立入り（ 有 （病院名：筑波大学附属病院 ） ・ 無 ）
- ・他の特定機能病院等からの立入り受入れ（ 有 （病院名：佐賀大学医学部附属病院 ） ・ 無 ）
- ・技術的助言の実施状況
- ・専従看護師の負担軽減、現場でのヒアリングがさらなる医療安全体制の強化につながることを期待されるため、増員検討をお願いしたい。

・医療安全確保のための院内ラウンドの結果において、是正が必要な項目の指導は、他のスタッフへ指導した内容が周知されない可能性があるため、口頭ではなく書面での通達などの検討をお願いしたい。また、指導した項目が是正されたか、継続した見当もお願いしたい。

⑪ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況

・体制の確保状況

平成15年4月1日に医療相談室を設置し、現在、医療相談室長（医師）1名、医療安全担当の医師1名、医事課及び医療支援課の事務職員15名の相談員を配置している。

また、令和2年5月1日に総合患者相談窓口を新設し、専任の相談員を配置するとともに看護師及び医療支援課の事務職員18名の相談員が連携対応している。

相談受付時間は、平日8:30から17:00（土日祝日除く）としている。

（活動状況等）

医療相談室及び総合患者相談窓口の相談員が、医療安全管理部（医療安全管理者）と協力して患者等からの安全管理を含めた医療に関する相談や苦情などに適切に対応している。

対応にあたっては、患者等の秘密の厳守及び患者が不利益を受けないよう適切な措置を講じながら適切かつ迅速に問題を解決するよう努めている。

また、必要に応じて、医師、看護師等各部署と協力して対応にあたり、途中経過及び結果を病院長に報告しているとともに、総合患者相談窓口では毎週、関係部署で1週間の事例共有と対応評価のカンファレンスを実施している。

⑫ 職員研修の実施状況

・研修の実施状況

職員の医療の安全に関する意識、職員間の相互に連携して業務を行なうことについての認識、業務を安全に行なうための技能向上等を目的とした研修は、医療安全研修会、医療機器研修会等で実施している。

（注）前年度の実績を記載すること（⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること）

⑬ 管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況

・研修の実施状況

管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者を「特定機能病院管理者研修」参加させるなどの措置を講じている。

（注）前年度の実績を記載すること

⑭ 医療機関内における事故の発生の防止に係る第三者による評価の受審状況、当該評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況、当該評価を踏まえ講じた措置の状況

・第三者による評価の受審状況

評価を行った機関名： 公益財団法人 日本医療機能評価機構

評価を受けた期間 : 令和6年7月17日～7月19日

- ・評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況
評価確定の後、病院ホームページに掲載予定
- ・評価を踏まえ講じた措置
中間評価が令和9月20日に通知されたことを受け、C評価となった項目について、
改善策を検討中

(注) 記載時点の状況を記載すること

規則第7条の2の2第1項各号に掲げる管理者の資質及び能力に関する基準

管理者に必要な資質及び能力に関する基準
<ul style="list-style-type: none"> ・ 基準の主な内容 1. 医師免許を有している者 2. 鳥取大学医学部附属病院の主任診療科長、診療科長又は診療施設の長に併任されている者 3. 医療安全確保のために必要な資質及び能力を有している者 <ul style="list-style-type: none"> ①医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者 医療放射線安全管理者の業務 ②医療事故防止等対策委員会の構成員としての業務 ③医療安全管理部における業務 ④その他上記に準ずる業務 4. 組織管理能力等の医学部附属病院を管理運営する上で必要な資質及び能力を有している者 <ul style="list-style-type: none"> ①病院長又は副病院長の経験 ②診療科長又は診療施設等の長の3年以上の経験 5. 教育・研究・診療に必要な資質及び能力を有している者 大学の医学系教授の経験があり、学識に優れ、医学教育、医学研究及び高度医療を担うことができる能力を有している者 <ul style="list-style-type: none"> ・ 基準に係る内部規程の公表の有無 (<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無) ・ 公表の方法 鳥取大学ホームページにより公表

規則第7条の3第1項各号に掲げる管理者の選任を行う委員会の設置及び運営状況

前年度における管理者の選考の実施の有無	有・無			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 選考を実施した場合、委員会の設置の有無 (有 ・ 無) ・ 選考を実施した場合、委員名簿、委員の経歴及び選定理由の公表の有無 (有 ・ 無) ・ 選考を実施した場合、管理者の選考結果、選考過程及び選考理由の公表の有無 (有 ・ 無) ・ 公表の方法 	有・無			
管理者の選任を行う委員会の委員名簿及び選定理由				
氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	特別の関係
				有・無
				有・無

				有・無
				有・無

規則第9条の23第1項及び第2項に掲げる病院の管理及び運営を行うための合議体の設置及び運営状況

合議体の設置の有無		有・無	
<p>・合議体の主要な審議内容 管理運営上の諸種の事項の調査審議し、これらに関し必要な事項を建議する。</p> <p>・審議の概要の従業者への周知状況 医学部附属病院ホームページにより公表</p> <p>・合議体に係る内部規程の公表の有無（有・無） ・公表の方法 鳥取大学ホームページにより公表</p> <p>・外部有識者からの意見聴取の有無（有・無）</p>			
合議体の委員名簿			
氏名	委員長 (○を付す)	職種	役職

役職指定で構成員が決まっているため名簿の作成はおこなっていない。

- 一 ○病院長（委員長）
- 二 管理運営組織の長
- 三 主任診療科長
- 四 診療科長
- 五 診療施設の長
- 六 薬剤部長
- 七 看護部長
- 八 診療支援技術部長
- 九 臨床研修支援部長
- 十 事務部長
- 十一 その他病院長が必要と認めた者

規則第15条の4第1項第1号に掲げる管理者が有する権限に関する状況

管理者が有する病院の管理及び運営に必要な権限

- ・ 管理者が有する権限に係る内部規程の公表の有無（ 有 ・ 無 ）

- ・ 公表の方法

鳥取大学ホームページにより公表

- ・ 規程の主な内容

病院長は、病院に関する業務を掌理する。

- ・ 管理者をサポートする体制（副院長、院長補佐、企画スタッフ等）及び当該職員の役割
副病院長（総務・働き方改革担当）

…評価監査・人事労務及び働き方改革・教育・キャリアアップ支援・看護師の特定行為研修

- 副病院長（経営担当）

…経営分析による改善のための提言と実践

- 副病院長（医療安全担当）

…医療安全・診療録・災害対策・個人情報保護

- 副病院長（医療の質管理担当）

…医療の質向上・コマンドセンターの管理運営・患者サービス

- 病院長特別補佐（広報・地域連携担当）

…広報・地域医療連携及び調整・病院機能分化等に係る自治体及び他病院との調整

- 病院長特別補佐（患者サービス担当）

…病院サポーター・医療コンシェルジュ・患者サービス向上・メディエーター

- 病院長特別補佐（業務改善担当）

…病院業務改善・経営効率化、支出削減

- 病院長特別補佐（ダイバーシティ担当）

…ワークライフバランス・ダイバーシティ推進

- 病院長特別補佐（医療安全担当）

…医療安全・診療録・災害対策・個人情報保護

- 病院長特別補佐（職員研修・職場環境担当）

…職員研修・職場環境改善

- 病院長特別補佐（地域連携担当）

…地域医療連携及び調整・病院機能分化等に係る自治体及び他病院との調整・病床配分、
効率的活用・地域との交流

- 病院長特別補佐（学生・研修医教育担当）

…学生から研修医へのシームレスな広報活動・初期研修医、専攻医のマッチング数増加に
関する取り組み

- ・ 病院のマネジメントを担う人員についての人事・研修の状況

病院のマネジメントを円滑に遂行するために複数の副病院長、病院長特別補佐を置き業務分担を行っている。

国立大学病院長会議等が企画する【病院長塾】、【医師の働き方改革に関する「トップマネジメント研修」】へ副病院長が例年参加し人材育成を行っている。

規則第15条の4第1項第2号に掲げる医療の安全の確保に関する監査委員会に関する
状況

監査委員会の設置状況					有・無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 監査委員会の開催状況：年 2 回 ・ 活動の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ・ 病院の医療安全に係る業務執行の状況に対する監査 ・ 病院の医療安全に係る管理状況及び改善状況に関する審議 ・ 監査及び審議結果の学長及び病院長への報告 ・ 監査委員会の業務実施結果の公表の有無（ <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無 ） ・ 委員名簿の公表の有無（ <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無 ） ・ 委員の選定理由の公表の有無（ <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無 ） ・ 監査委員会に係る内部規程の公表の有無（ <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無 ） ・ 公表の方法： <ul style="list-style-type: none"> ・ 病院のホームページ及び大学のホームページにて公表 					
監査委員会の委員名簿及び選定理由（注）					
氏名	所属	委員長 （○を付す）	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
福田 誠司	椋山女学園大 学看護学部 教授	○	医療に係る安全管理に関する識見を有する者として適任であるため。	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	1
中村 寿夫	中村法律事務所 弁護士		法律に関する識見を有する者として適任であるため。	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	1
井上 俊之	NPO 法人岡山SP 研究会 理事		医療を受ける者で、かつ医療従事者以外であり、医療安全管理についての知識を有する者として適任であるため。	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	2

（注） 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
3. その他

規則第15条の4第1項第3号イに掲げる管理者の業務の執行が法令に適合することを
確保するための体制の整備に係る措置

管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況

・体制の整備状況及び活動内容

鳥取大学内部統制規則を整備するとともに、鳥取大学監査室による定期監査を行っている。
法人文書・個人情報の管理状況に関する監査、公的研究費等に関する監査を実施。
また病院の管理及び運営を行うための合議体である病院運営会議に監事が出席している。

・ 専門部署の設置の有無 (・ 無)

・ 内部規程の整備の有無 (・ 無)

・ 内部規程の公表の有無 (・ 無)

・ 公表の方法

鳥取大学ホームページに掲載

規則第15条の4第1項第3号ロに掲げる開設者による業務の監督に係る体制の整備に係る措置

開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の状況			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 病院の管理運営状況を監督する会議体の体制及び運営状況 経営協議会を設置し、外部委員を含めた構成員により開催している。 ・ 会議体の実施状況（年5回） <ul style="list-style-type: none"> ・ 会議体への管理者の参画の有無および回数（<input checked="" type="checkbox"/>有・無）（年5回） ・ 会議体に係る内部規程の公表の有無（<input checked="" type="checkbox"/>有・無） ・ 公表の方法 鳥取大学ホームページにより公表 			
病院の管理運営状況を監督する会議体の名称：経営協議会			
会議体の委員名簿			
氏名	所属	委員長 (○を付す)	利害関係
中島 廣光	学長	○	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
河田 康志	理事・副学長		<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
原田 省	理事・副学長		<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
山口 武視	理事・副学長		<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
三木 達行	理事・副学長・事務局長		<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
藪田 千登世	理事・副学長		<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
坂本 直	理事		<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
武中 篤	医学部附属病院長・副学長		<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
占部 まり	宇沢国際学館 代表取締役		<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
小林 朋道	公立大学法人公立鳥取環境大学 学長		<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
中島 諒人	特定非営利活動法人鳥の劇場 代 表理事		<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
林田 英樹	元文化庁長官		<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
平井 伸治	鳥取県知事		<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
松本 典子	学校法人藤田学院鳥取短期大学 学長		<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
宮崎 正彦	(株)鳥取銀行 特別顧問		<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
吉岡 秀樹	(株)新日本海新聞社 取締役会長 グッドヒル(株)代表取締役社長		<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
渡辺 憲	社会医療法人明和会医療福祉セ ンター 渡辺病院 理事長・院長		<input checked="" type="checkbox"/> 有・無

(注) 会議体の名称及び委員名簿は理事会等とは別に会議体を設置した場合に記載すること。

規則第15条の4第1項第4号に掲げる医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付ける窓口の状況

<p>窓口の状況</p> <ul style="list-style-type: none">・ 情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無 (<input checked="" type="checkbox"/> ・ 無)・ 通報件数 (年 0 件)・ 窓口に提供する情報の範囲、情報提供を行った個人を識別することができないようにするための方策その他窓口の設置に関する必要な定めの有無 (<input checked="" type="checkbox"/> ・ 無)・ 窓口及びその使用方法についての従業者への周知の有無 (<input checked="" type="checkbox"/> ・ 無)・ 周知の方法 <p>ホームページで公表</p>
--

(様式第 7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類（任意）

1 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	有・無
<p>・情報発信の方法、内容等の概要</p> <p>○ホームページ：随時更新</p> <p>○広報誌「とりだい病院ニュース」：3回発行 当院の最新の取組みや医療情報を患者さんとはじめ地域の医療機関等へ発信している。</p> <p>○広報誌「カニジル」：3回発行 医療や医療に携わる人にフォーカスを当てながら当院の新たな魅力を発信している。</p> <p>○外来担当医のご紹介：1回発行 顔写真付きの外来担当医表。医療圏内の医療機関へ配布している。当院を身近に感じていただき、患者紹介時に活用いただく。</p> <p>○ケーブルテレビ：地元ケーブルテレビ局と提携し、医療番組を毎月放送。</p> <p>○メディカルセミナー（市民対象公開講座）：2回開催 地域に出かけ当院医師らが最新治療や地域のニーズに合った話題を講演している。</p> <p>○公式 SNS：随時発信 当院の日々の出来事や注目情報などをいち早く発信している。</p> <p>○カニジルラジオ 地元ラジオ局と提携。主に当院の職員が出演し医療や病院に関する話題を紹介している。</p> <p>○プレスリリース、記者発表 新たに実施した治療や取組みについて、報道機関に随時情報発信をしている。</p> <p>○記者懇談会：年1～2回開催 記者との関係構築や当院情報の発信推進を目的に開催している。</p> <p>○職種案内冊子：隔年1回発行 本院で活躍する医療スタッフを紹介し、人材確保に繋がる発信をしている。</p>	

2 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

① 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	有・無
<p>・複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要</p> <p>低侵襲外科センターにおいて、外科系各診療科の壁を越えて疾患に対応することはもとより、低侵襲手術の技術向上と教育を行っている。</p> <p>また、脳とこころの医療センターにおいて、複数科にまたがる、あるいは複数科でみるべき疾患に対応しているほか、褥瘡対策チーム、緩和ケアチーム、糖尿病医療支援チーム、栄養サポートチーム、感染対策チーム、抗菌薬適正使用支援チーム、転倒・転落予防チーム、生殖医療チーム、呼吸サポートチーム、ラピッドレスポンスシステム検討チーム、早期離床リハビリテーションチーム、認知症ケアサポートチーム、肝疾患サポートチーム、摂食嚥下リハビリテーションチームなど、複数診療科が連携し組織横断的に対応を行う体制を整備している。</p>	